

市政モニターへのユニバーサルデザインに関するアンケート結果

【調査目的】 ユニバーサルデザインに関して、日ごろ感じていることや意見、提言等を伺い、今後の取組の参考とする。

【実施期間】 平成 30 年 8 月 6 日～9 月 3 日

【対象者数】 市政モニター71 名

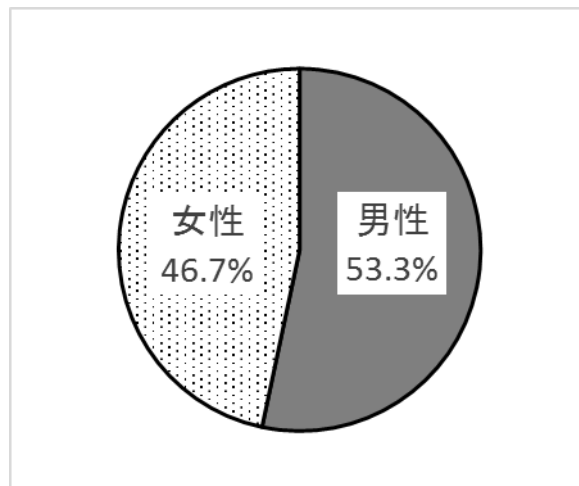
【回答者数】 60 名（回答率 84.5%）

【回答者の属性】

■性別

男性 53.3%

女性 46.7%



■年代

10代 0%

20代 5.0%

30代 15.0%

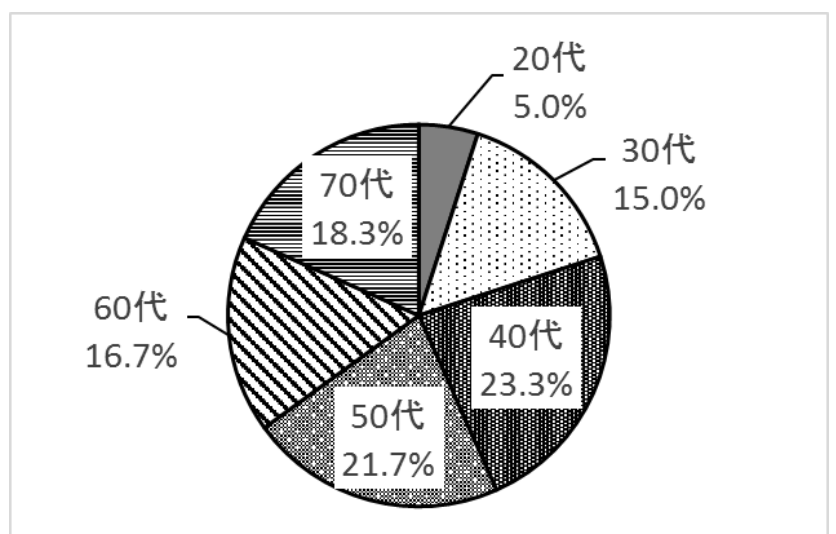
40代 23.3%

50代 21.7%

60代 16.7%

70代 18.3%

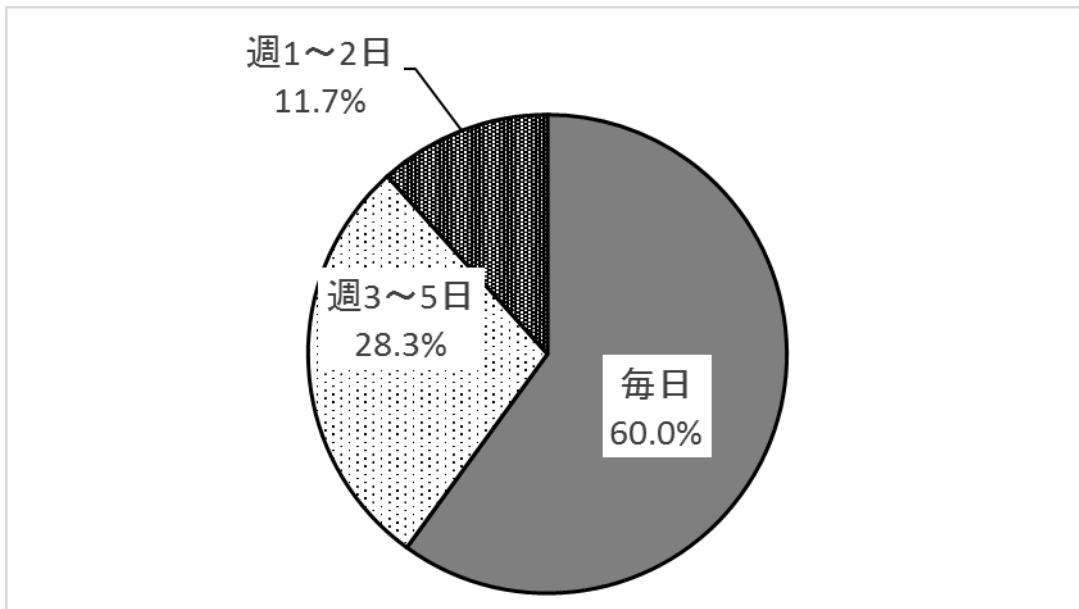
80代 0%



問1：あなたの氏名をご記入ください（省略）

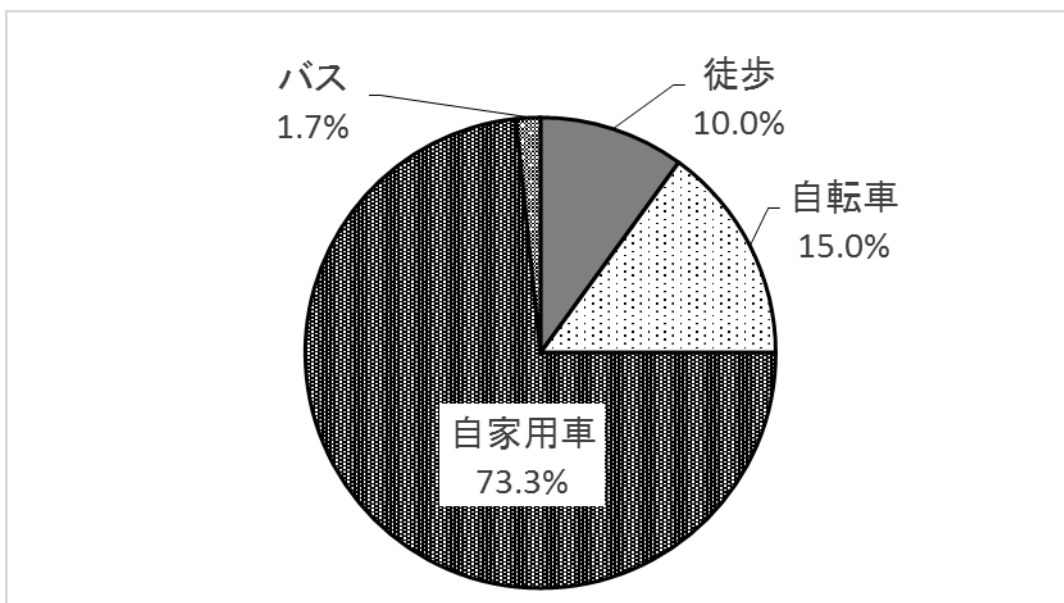
問2：あなたの外出頻度を教えてください。

- 1. 毎日 60.0%
- 2. 週3～5日 28.3%
- 3. 週1～2日 11.7%
- 4. 週1日未満 0%

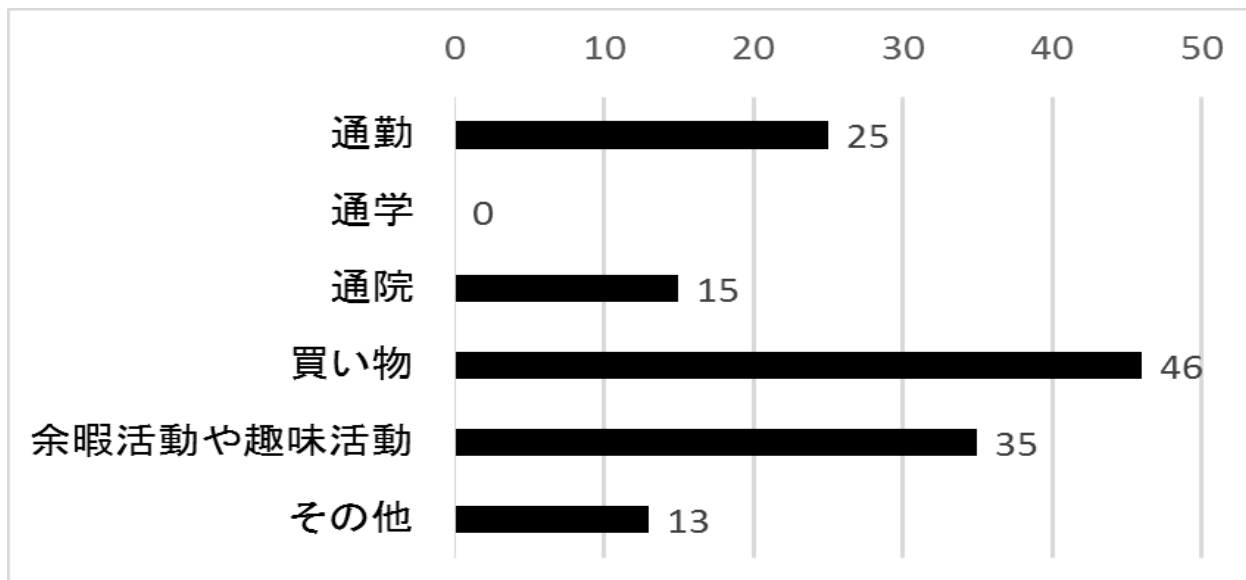


問3：あなたが日ごろ、もっとも多く利用している交通手段を教えてください。

- 1. 徒歩 10.0%
- 2. 自転車 15.0%
- 3. 自家用車 73.3%
- 4. バイク 0%
- 5. バス 1.7%
- 6. 電車 0%
- 7. タクシー 0%
- 8. その他 0%

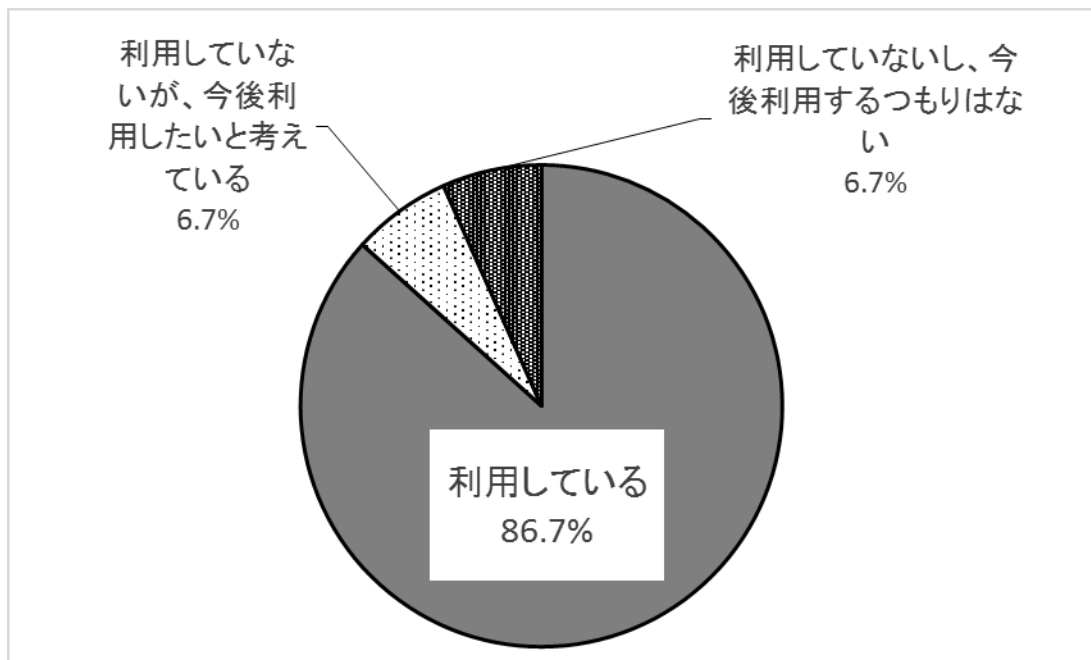


問3-1：問3で回答した内容はどのような目的で利用しているか教えてください。
 (複数回答可)

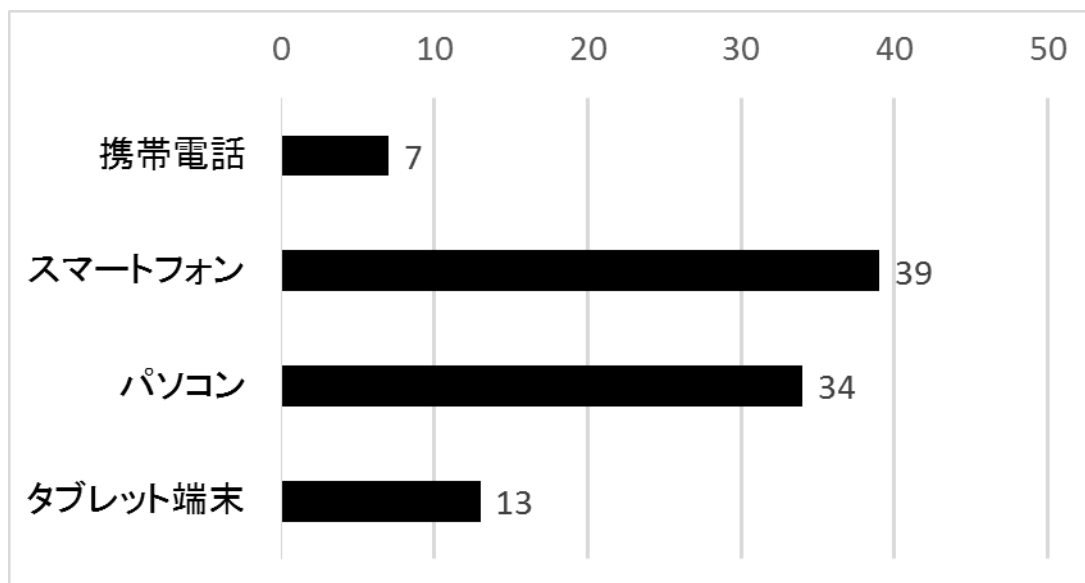


問4：情報収集の手段としてインターネットを利用していますか。

1. 利用している 86.7%
2. 利用していないが、今後利用したいと考えている 6.7%
3. 利用していないし、今後利用するつもりはない 6.7%



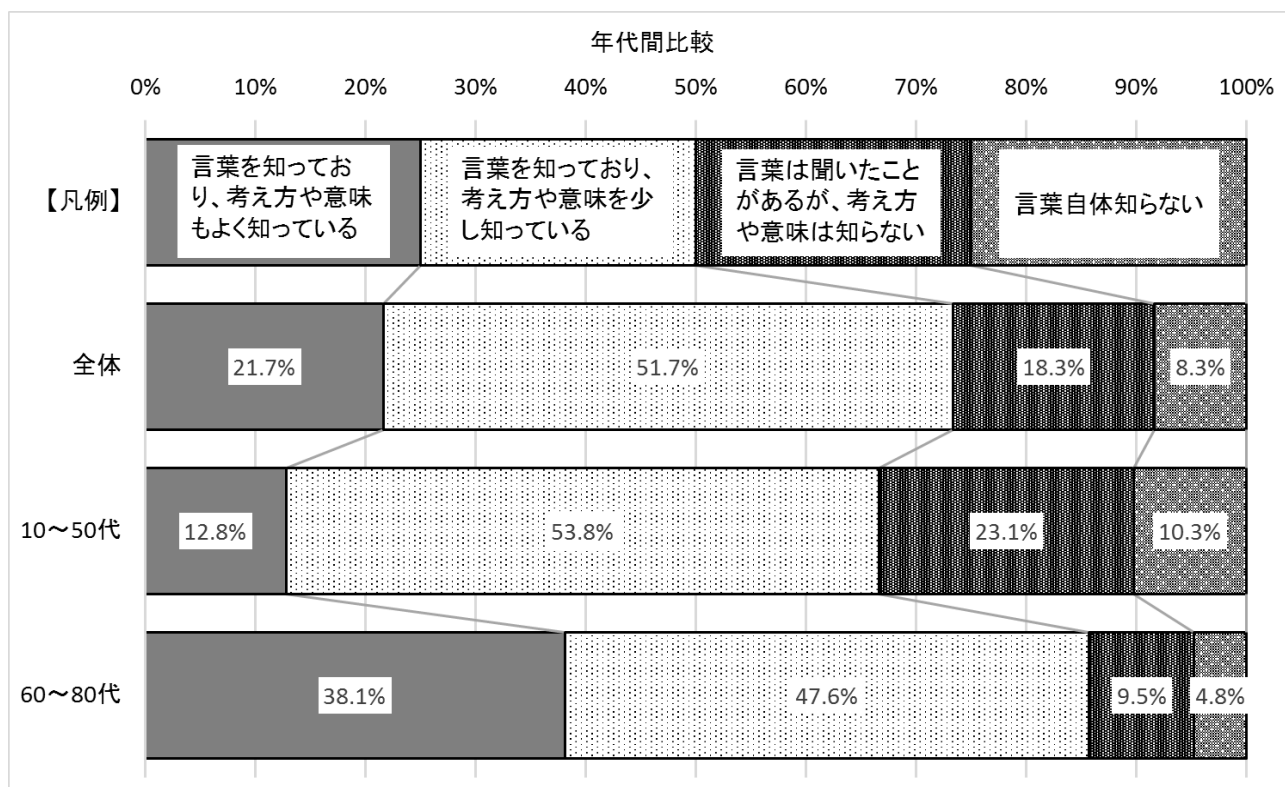
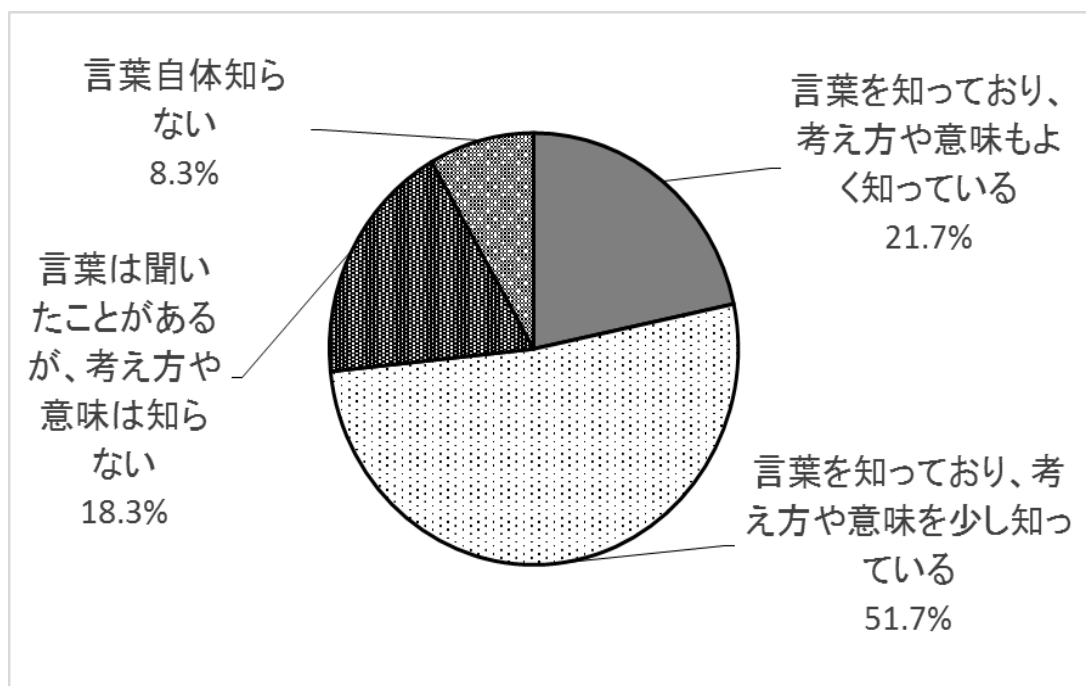
問4-1：問4で「1. 利用している」と回答した方に伺います。現在情報収集手段として利用しているものを教えてください。（複数回答可）



2. ユニバーサルデザインについて伺います

問5：あなたは、ユニバーサルデザインという言葉を知っていますか。

1. 言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている 21.7%
2. 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている 51.7%
3. 言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味はあまり知らない 18.3%
4. 言葉自体知らない 8.3%

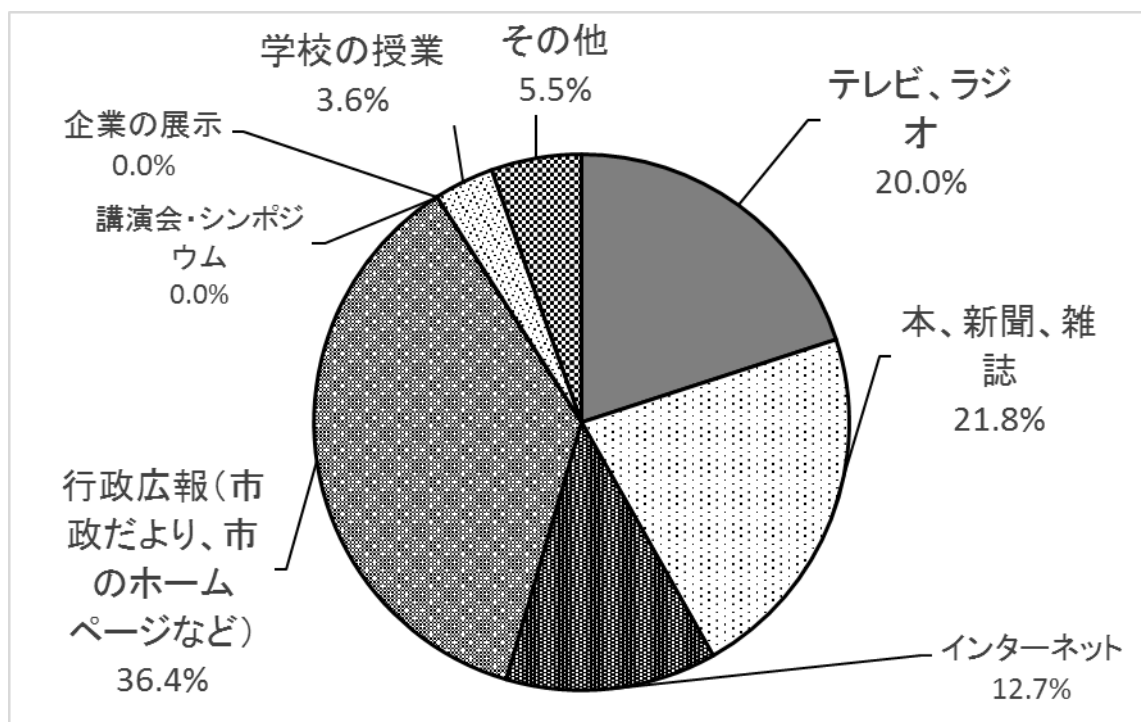


問5-1：問5で「1. 言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている」、「2. 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている」、「3. 言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない」と回答した方に伺います。「ユニバーサルデザイン」という言葉をどのようにして知りましたか。

1. テレビ、ラジオ	20.0%
2. 本、新聞、雑誌	21.8%
3. インターネット	12.7%
4. 行政広報（市政だより、市のホームページなど）	36.4%
5. 講演会・シンポジウム	0%
6. 企業の展示	0%
7. 学校の授業	3.6%
8. その他	5.5%

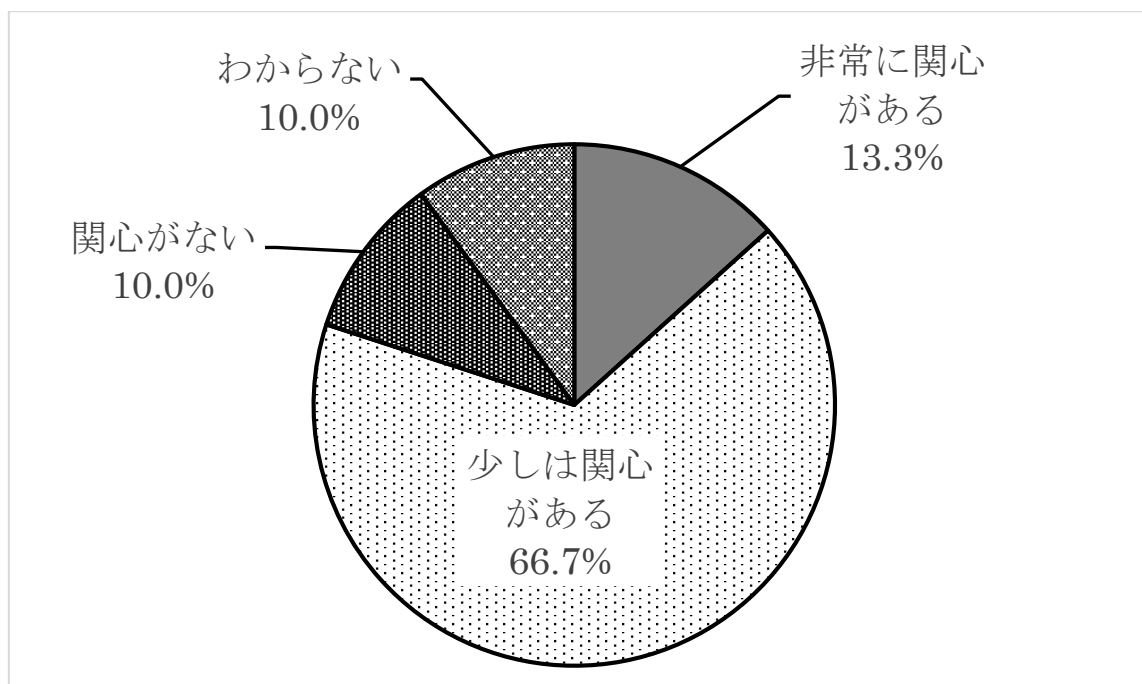
【その他の内容】

- ・「ユニバーサルデザインを反映したデザイン（パンフレット）を作成した」
- ・「市政モニターのアンケート調査にて」
- ・「ヘルパーやボランティアの講習時」



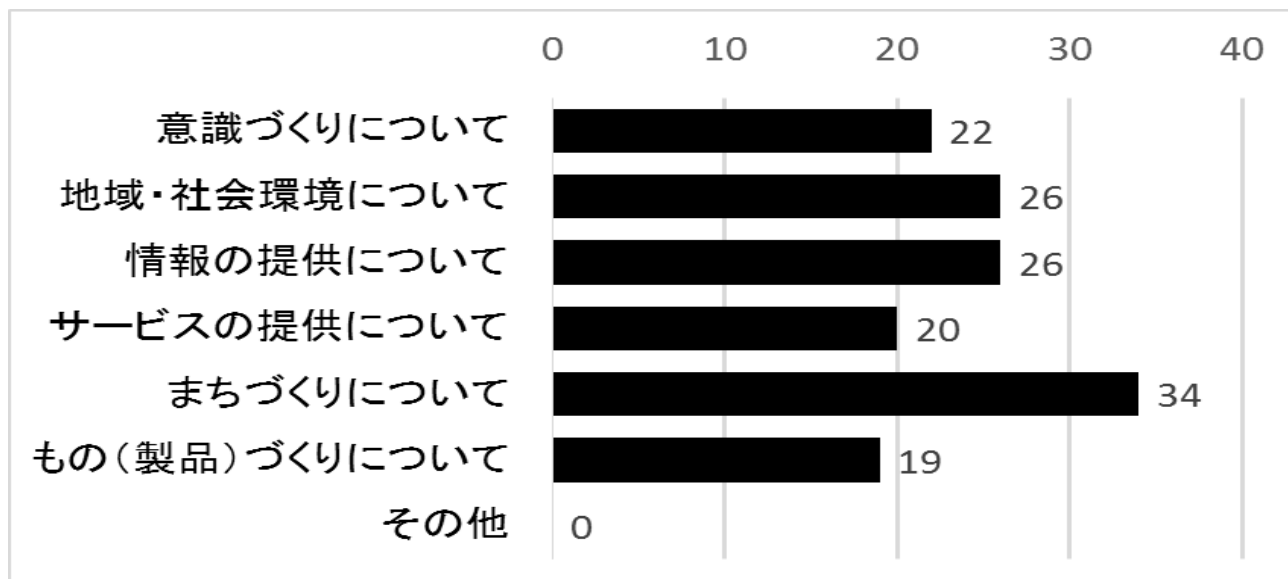
問6：あなたは「ユニバーサルデザイン」に関心をお持ちですか。

1. 非常に関心がある 13.3%
2. 少しは関心がある 66.7%
3. 関心がない 10.0%
4. 分からない 10.0%



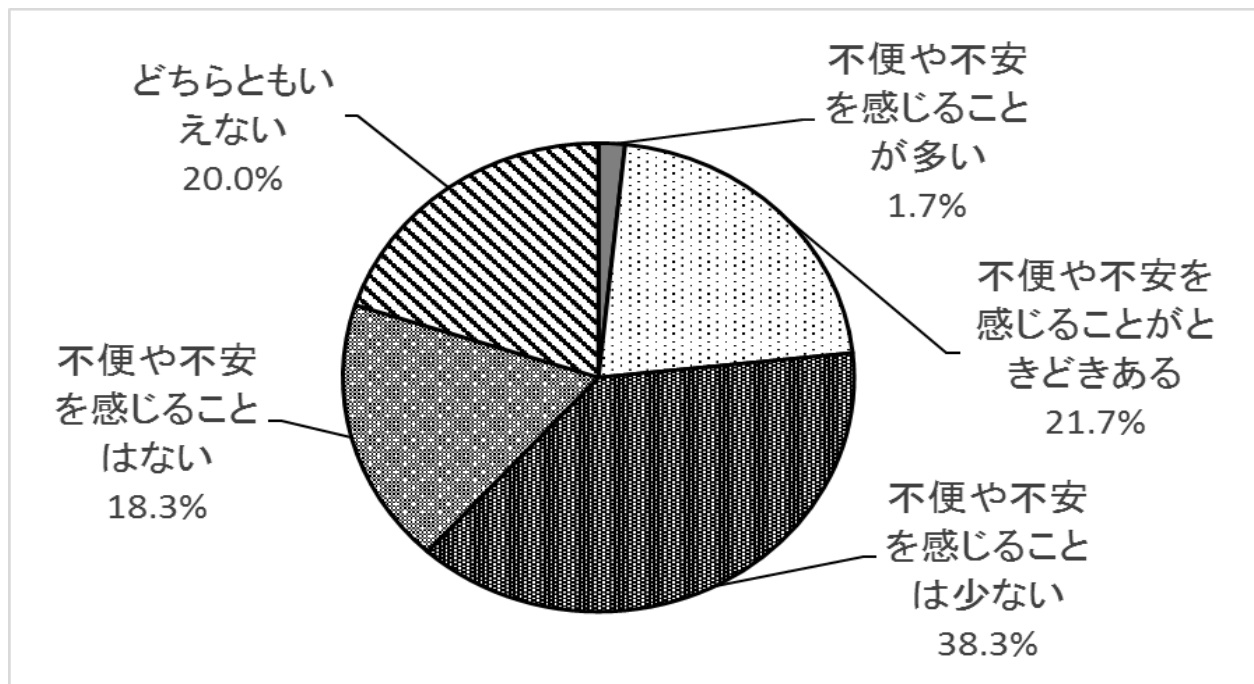
問6-1：問6で「1. 非常に興味がある」「2. 少しは興味がある」と回答した方に伺います。あなたが関心のある「ユニバーサルデザイン」は何ですか。（複数回答可）

分野	内容
意識づくりについて	思いやりやおもてなしのこころを育む取組、ユニバーサルデザインの必要性や重要性の意識啓発など
地域・社会環境について	地域での支え合い、交流の場、防犯・防災など
情報の提供について	様々な手段による情報提供、分かりやすい情報提供、情報収集のしやすさ
サービスの提供について	手続きの簡素化、気配りある対応など
まちづくりについて	施設設備、道路、公園、公共交通など
もの（製品）づくりについて	誰もが使いやすい製品の開発、普及など



問7：あなたが日常生活や社会生活を送るうえで、ユニバーサルデザインの観点から、不便や不安などを感じていることはありますか。

- 1. 不便や不安を感じるが多い 1.7%
- 2. 不便や不安を感じるがときどきある 21.7%
- 3. 不便や不安を感じることは少ない 38.3%
- 4. 不便や不安を感じることはない 18.3%
- 5. どちらともいえない 20.0%



問7-1：問7で「1. 感じることが多い」「2. 感じる事がときどきある」と回答した方に伺います。具体的にどんなことで不便や不安を感じますか。

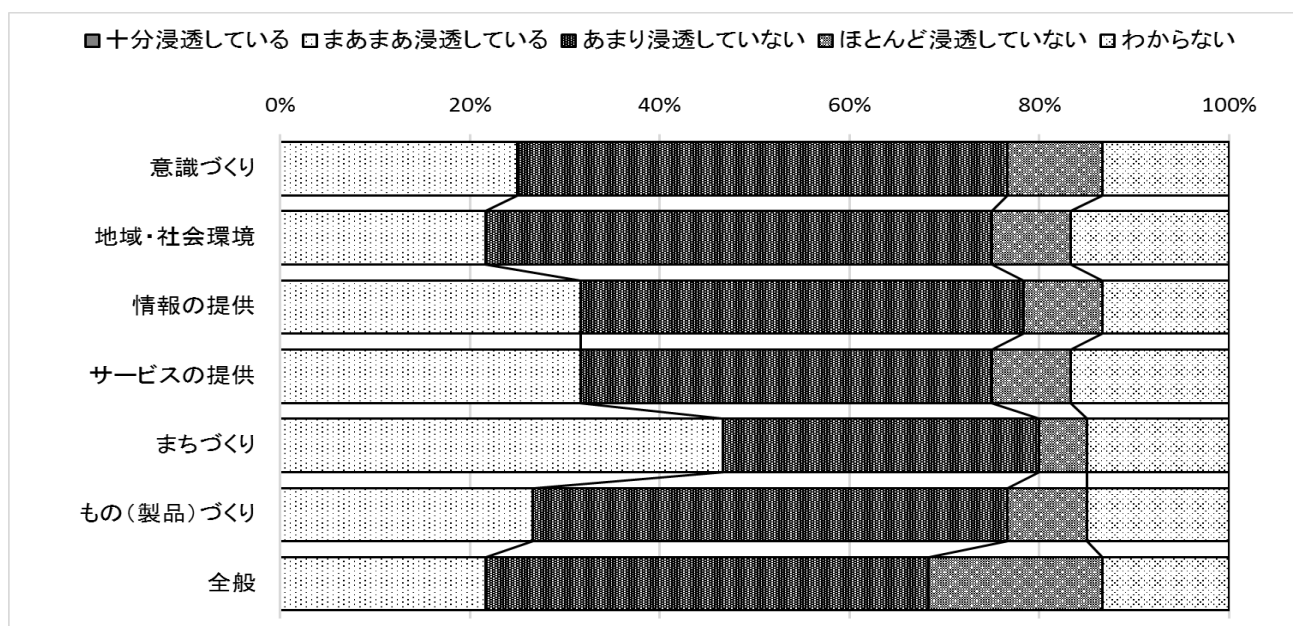
年代	性別	回答
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路案内（車線変更、工事） ・総合案内（行政窓口）
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・「危険、立入禁止」「熊注意」の看板が日本語だけだと日本語が読めない人は知らずに行ってしまうのか不安になります。
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・点字ブロックなどちゃんと利用できない場所があったり、歩道の段差が危なかったりする。
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路標識の案内がわかりにくい場所がある
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・施設が障がい者にとって安全で利用しにくい作りだなと感じることがある。行政のホームページは固いイメージで、文章が長く簡潔でないものが結構多い
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・こども連れで外出するとき ・道路を通行する時
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・私は普段の移動手段として徒歩、又は自動車を利用することが多いのですが、道（主に歩道）の段差や狭さが気になります。歩道に道を塞ぐように止められている車も多々あり困ることがあります。
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に伴い、地域の社会環境の変化
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・市内は特に一方通行が多く県外ナンバーの逆走が目立つ。「田事」（常北町）を挟んで両脇の道路は特に多いので表示を増やしてほしい。末廣酒造は壁面にちゃんと表示がある
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・案内表示がわかりにくい（数が少ない）
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・標示が見えにくく見落としやすい（道路など）
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・国道49号線の歩道に目の不自由な人のために黄色で一部盛り上がっている部分で、除雪時に壊れているのが見られる
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・子供のトイレ、おむつ台の有無、自転車置き場

3. 生活や社会でのユニバーサルデザインについて伺います

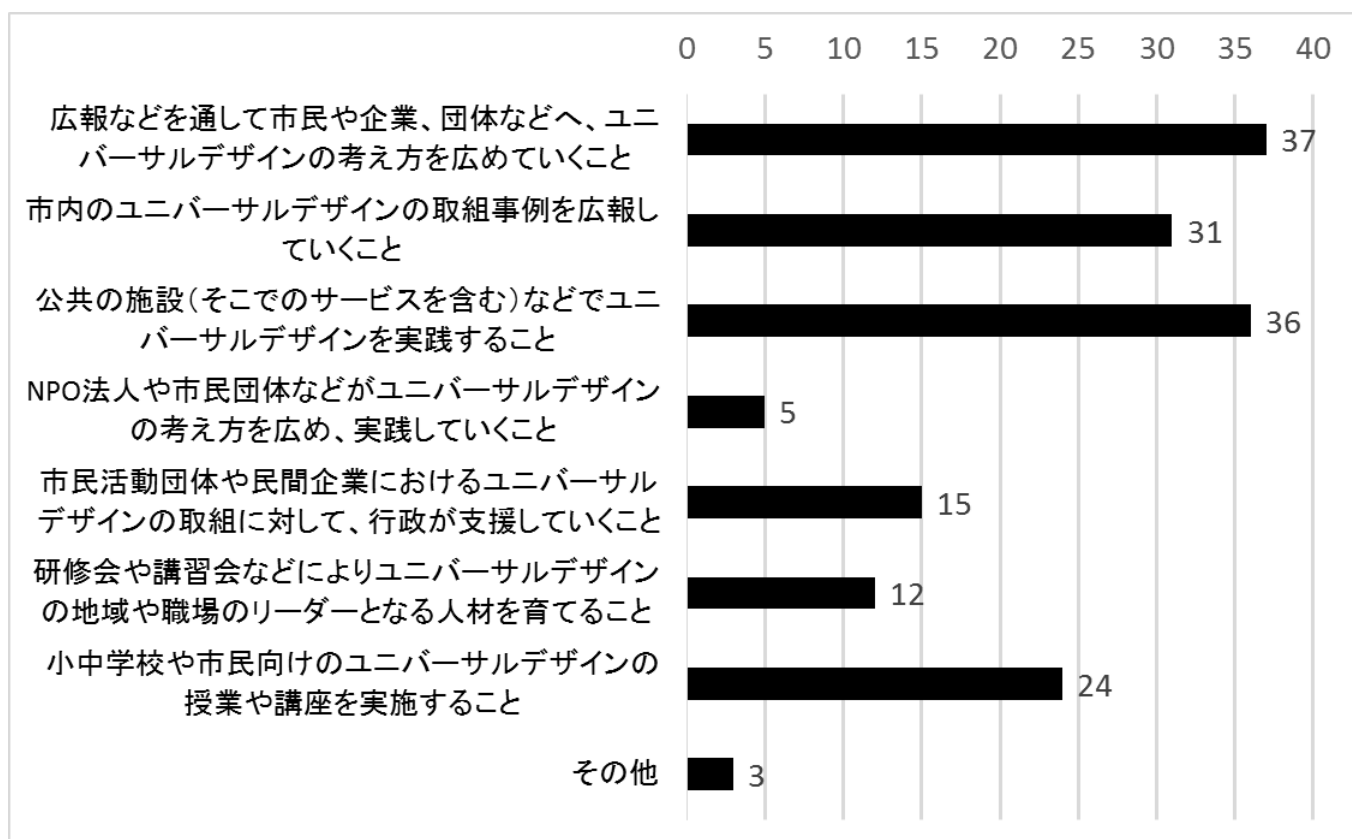
問8：次に、以下のそれぞれの項目ごとに、どの程度ユニバーサルデザインが浸透していると思いますか。

項目	内容
意識づくりについて	思いやりやおもてなしのこころを育む取組、ユニバーサルデザインの必要性や重要性の意識啓発など
地域・社会環境について	地域での支え合い、交流の場、防犯・防災など
情報の提供について	様々な手段による情報提供、分かりやすい情報提供、情報収集のしやすさ
サービスの提供について	手続きの簡素化、気配りある対応など
まちづくりについて	施設設備、道路、公園、公共交通など
もの（製品）づくりについて	誰もが使いやすい製品の開発、普及など
全般的な認知度について	

	十分浸透している	まあまあ浸透している	あまり浸透していない	ほとんど浸透していない	わからない
意識づくり	0.0%	18.1%	37.3%	7.2%	9.6%
地域・社会環境	0.0%	15.7%	38.6%	6.0%	12.0%
情報の提供	0.0%	22.9%	33.7%	6.0%	9.6%
サービスの提供	0.0%	22.9%	31.3%	6.0%	12.0%
まちづくり	0.0%	33.7%	24.1%	3.6%	10.8%
もの（製品）づくり	0.0%	19.3%	36.1%	6.0%	10.8%
全般	0.0%	15.7%	33.7%	13.3%	9.6%



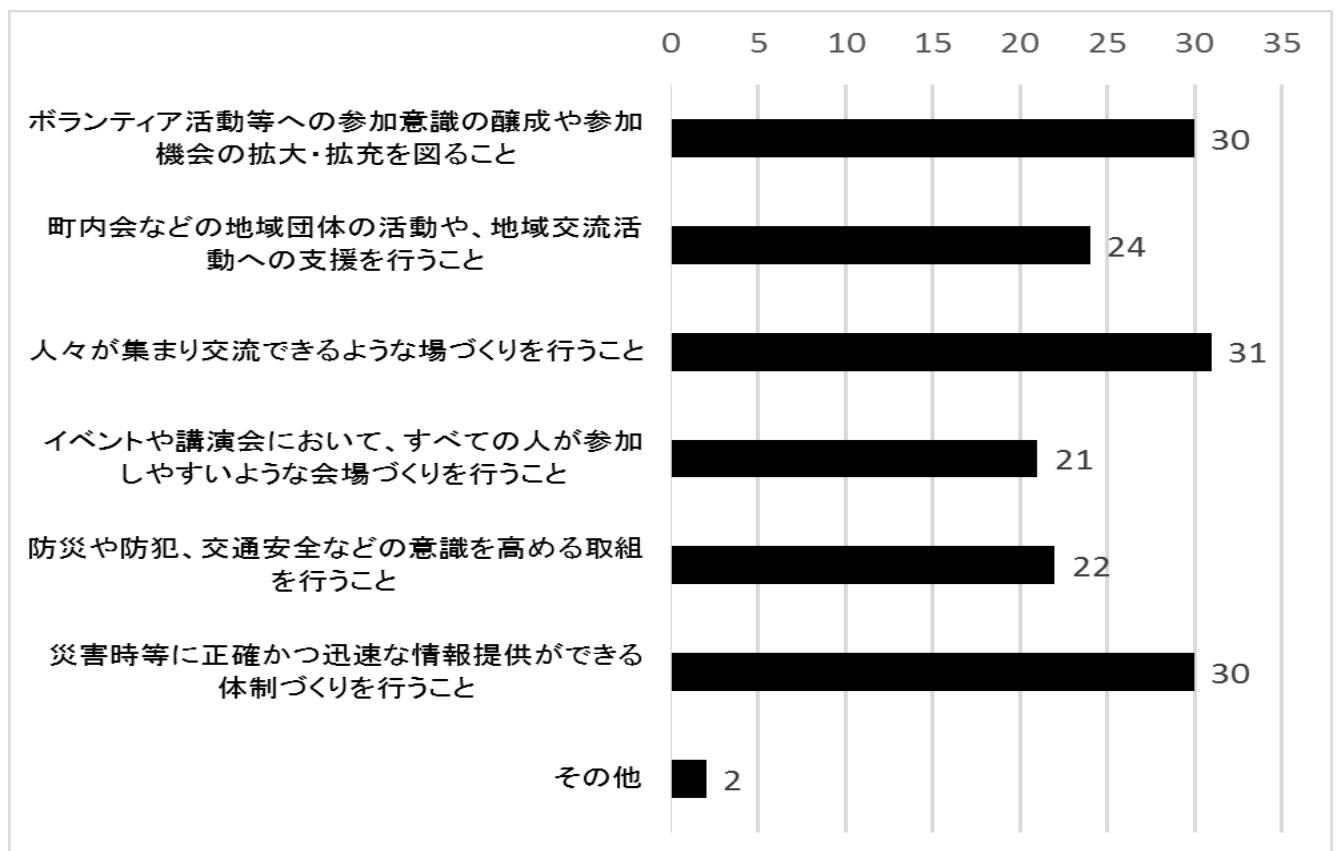
問9：ユニバーサルデザインの「意識づくり」を進めるために、特にどのような取組が必要だと思いますか。（複数回答可）



【その他の内容】

- ・「意識づくり」が必要な時点でユニバーサルデザインでなくなってしまうと思います。説明が必要になった時点でユニバーサルデザインではなく説明文になると思います。
- ・提供する方は言葉先行型が良いとは思いますが、利用する側は、意識しなくても、なんとなく便利になったなあ。らくになったなあ。と思える事が大事なような気がする。
- ・2項での具体的な広報として、市やその他で実際に取り組んでいる例を、定期的に「冊子」にして全世帯へ配布し、市民の関心と意識の向上を図る。

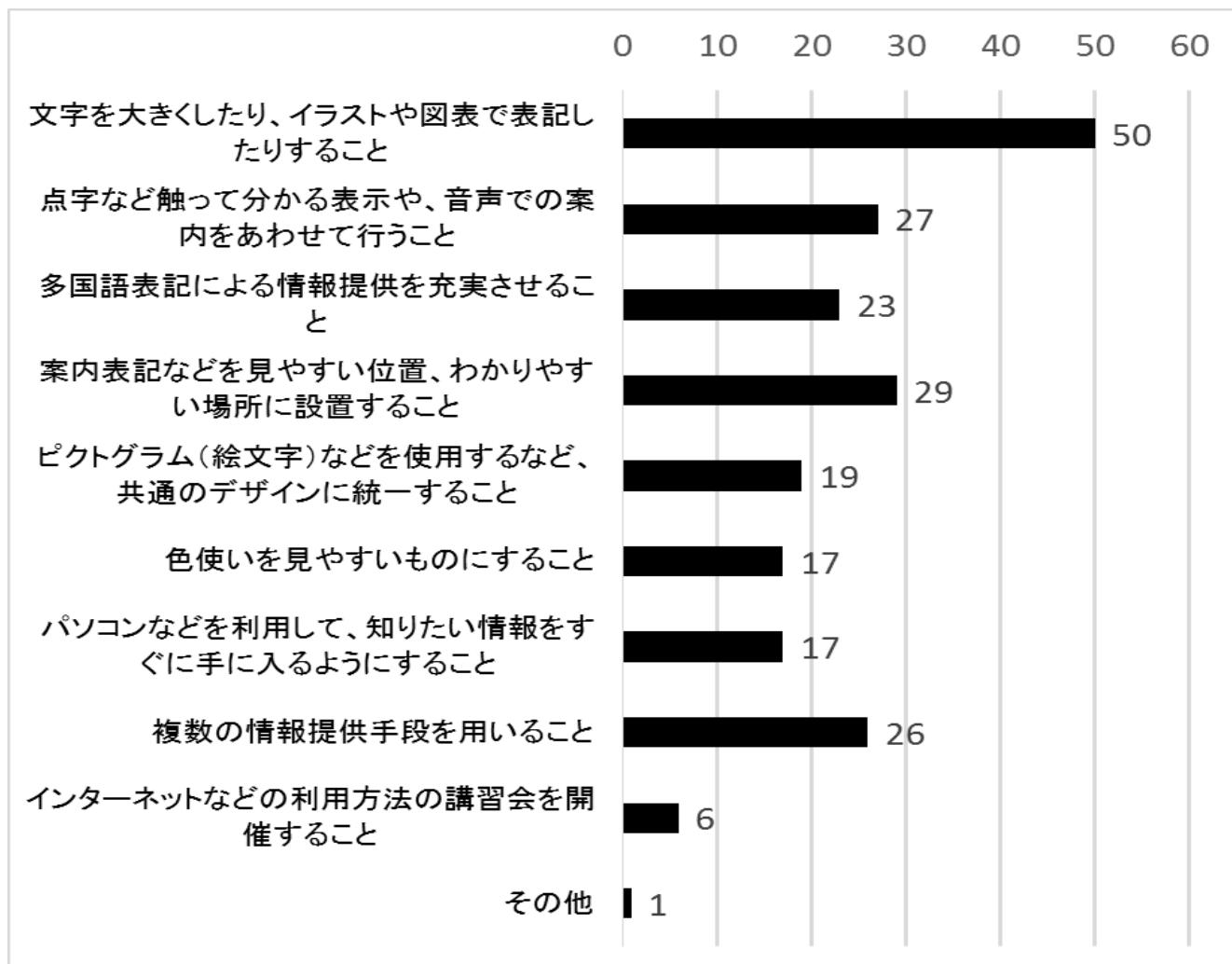
問 10：みんなが支え合い、安心して生活できる「社会・環境づくり」を進めるために、特にどのような取組が必要だと思いますか。（複数回答可）



【その他の内容】

- ・交通の便利さ。
- ・防災に対する意識が少ない。

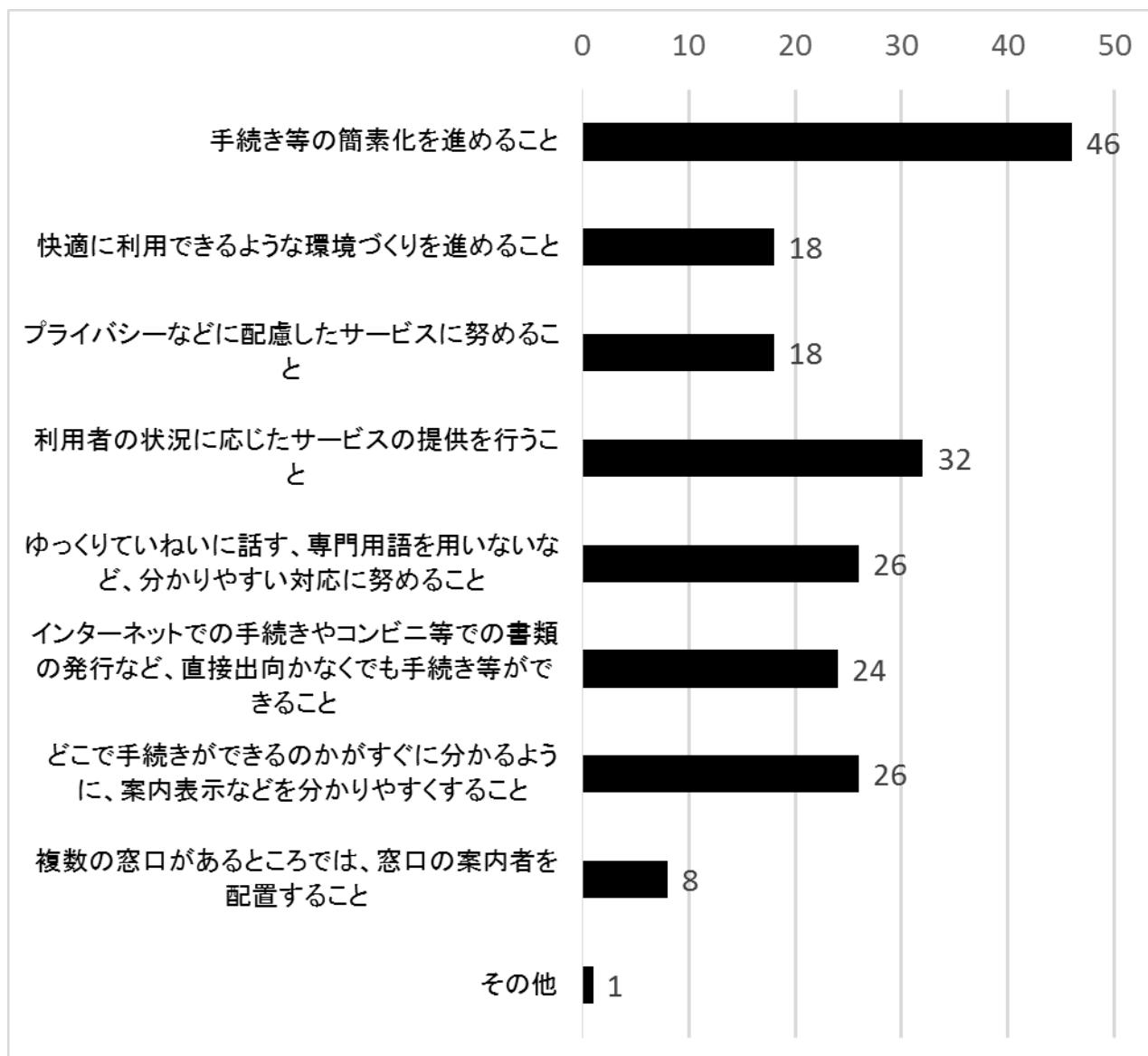
問 11：誰にでも分かりやすく、必要なときにすぐに得られる「情報提供」を進めるために、特にどのような配慮が必要だと思いますか。（複数回答可）



【その他の内容】

- ・2020 オリンピックのため？（たとえば衣類の洗濯等の表示が変更になったが、全然わからない。世界共通にするのは時期尚早と思われるが）
- ・全ての年代の方に興味や関心を持ってもらえるような取組

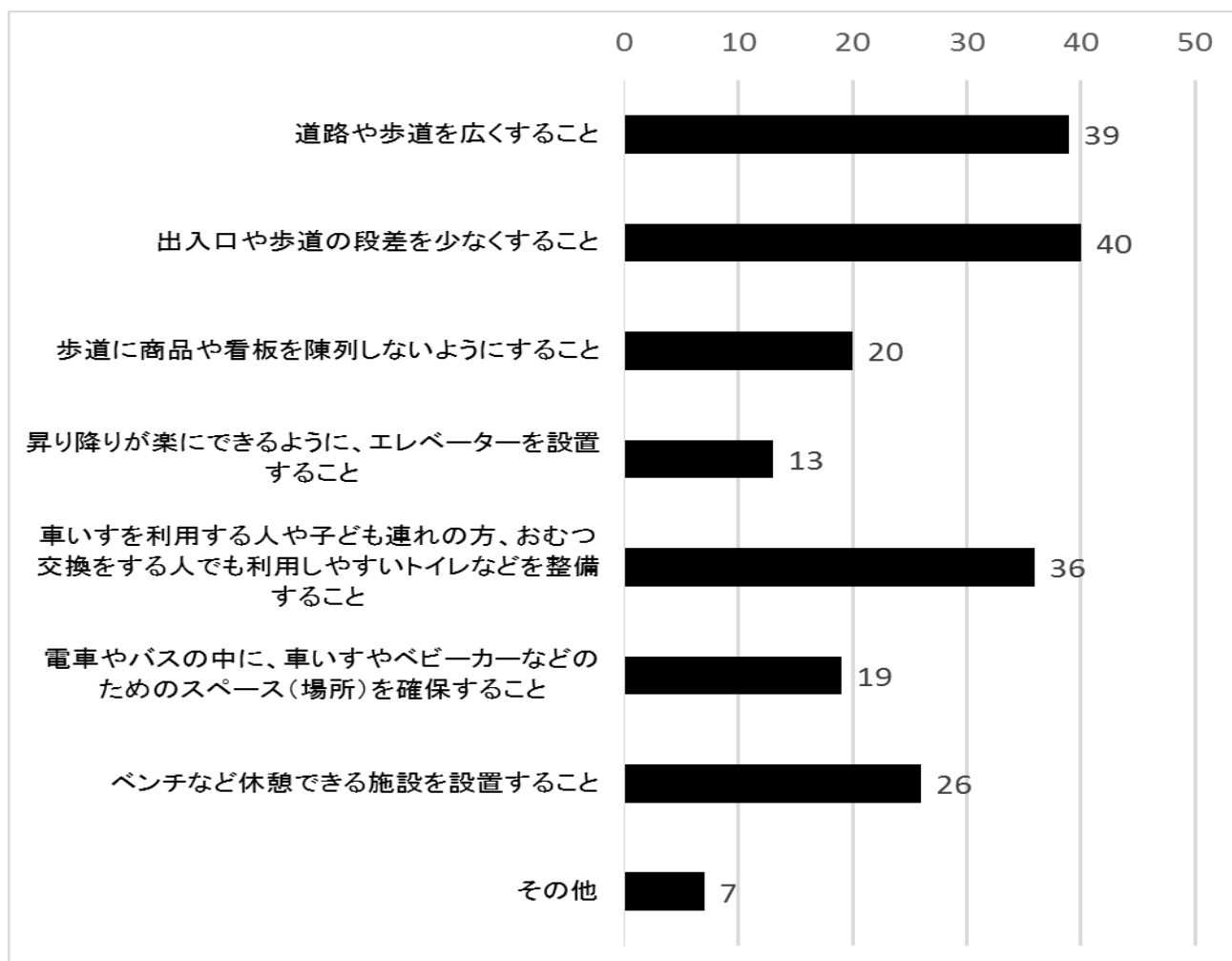
問 12：すべての人が快適に利用できる「サービスの提供」を進めるために、特にどのような取組が必要だと思いますか。（市の窓口、お店、事業所の対応など）
（複数回答可）



【その他の内容】

- ・郵送の手続き。

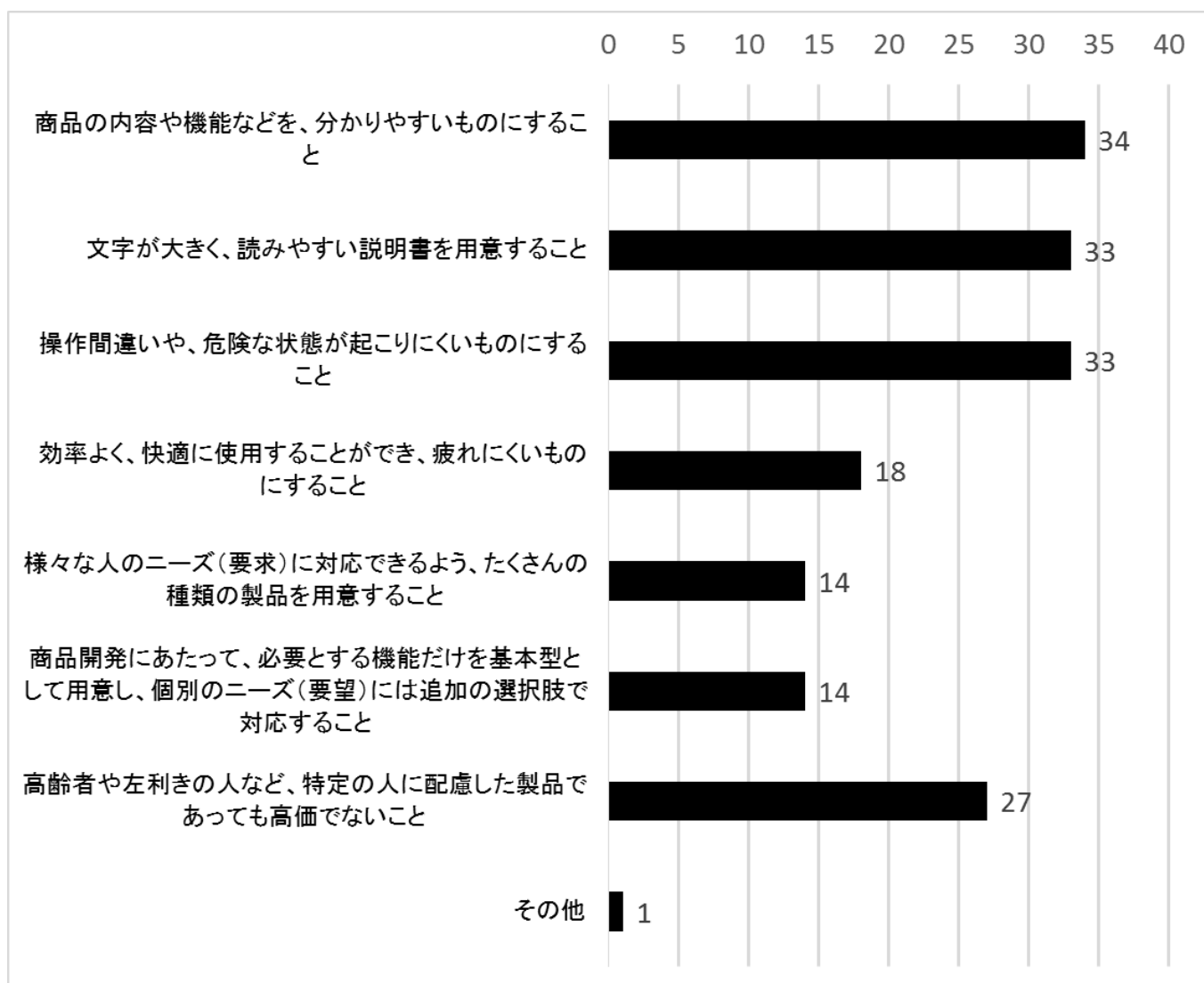
問 13：建物、道路、交通機関などを安心・安全・快適に利用できる「まちづくり」を進めるために、特にどのような配慮が必要だと思いますか。（複数回答可）



【その他の内容】

- ・ウォーキングなど外出時のトイレを市内のわかりやすい場所に小規模の公衆トイレを数多く作る。維持管理に費用がかかりますが、現状ではスーパーなどのトイレを借りているが、早朝や閉店後はトイレ探しが大変です。環境にも優しく。
- ・高齢化社会を迎えるにあたり、みんなが利用しやすいようにするにはどうしたらよいかの意見を現在高齢の人たちから大いに取り入れていく。
- ・「街の中心部だけ」としない配慮。
- ・バスのステップを低くしてほしい。
- ・皆が同じように利用できることが望ましいので、周りの人も理解をして気遣ってやれば良いと思います。そういう心を持った人を育てることが必要。
- ・雪の時期の対策強化。

問 14：誰にでも使いやすく、使ってみたくなるような「ものづくり」を進めるために、特にどのような配慮が必要だと思いますか。（複数回答可）



【その他の内容】

- ・インターネットだけに頼らない

問 15 : 会津若松市の中で、特にユニバーサルデザインが進んでいると思うところを具体的に教えてください。

■ハードの面（例：公共施設、商業施設、道路、公園、公共交通、標識 など）

年代	性別	回答
40代	女性	・稽古堂
40代	女性	・標識に外国語表記も併記されていることがよくあるので、外国人の方にもわかりやすいと思います。
70代	男性	・具体的には分からない。説明されればなるほどと分かるものはあると思う。
40代	男性	・稽古堂
40代	男性	・特になし
50代	女性	・病院（竹田総合病院、中央病院など比較的新しい施設）
50代	男性	・会津若松駅、アピタ、リオンドール、ヨークベニマル
50代	女性	・公共施設内の手すり等の設置
70代	男性	・稽古堂、ドラッグストア、スーパー、鶴ヶ城、県立博物館、飯盛山、御薬園、図書館、会津若松駅
40代	男性	・稽古堂や会津医療センター、竹田総合病院
30代	男性	・10年ほど前より歩道が広い道が増えて、歩行者の安全性が高まったとおもいます。
60代	男性	・神明通りのアーケード街は歩道も広く、商店と歩道の段差も少なく利用しやすい。
50代	女性	・道路（特に交差点）
50代	男性	・会津風雅堂の電話や水飲み場等。
60代	女性	・稽古堂
60代	女性	・特になし
50代	女性	・商業施設
30代	女性	・観光施設のトイレ
50代	男性	・歩道の整備が進んでいる
60代	女性	・比較的新しい公共施設や商業施設（会津稽古堂、スーパーマーケットなど）、ステップが低く乗りやすいバス
70代	男性	・公共施設（バリアフリー、スロープ等）
60代	女性	・公共施設、公共交通
70代	男性	・観光案内板、公共施設、道路
40代	女性	・駅前の地下歩道。車いすの人のためのスロープのある所
70代	女性	・公共施設、交通
30代	男性	・稽古堂は設備もバリアフリーも整っているので、今後新設される施設もそうになってほしい
30代	男性	・高齢者施設
70代	女性	・公共施設
60代	男性	・道路、標識（以前よりは）

年代	性別	回答
70代	男性	・道路（大きい道路は比較的良いが、場所によっては段差のところも）
40代	男性	・道路、新しい公共施設
40代	女性	・公共施設
50代	女性	・お城（案内板表示が多言語でわかりやすい）
50代	女性	・歩道の幅が広かったり、融雪設備のついているところがある

■ソフトの面（例：情報、サービス、意識、安全、防災など）

年代	性別	回答
40代	女性	・なし
40代	女性	・稽古堂をよく利用するのですが、職員さんが物腰柔らかく、困ったことがあると相談しやすいです。
70代	男性	・市役所からのインターネットを通しての情報提供、e-mailの活用などは非常に便利で日常生活で役に立っている。
40代	男性	・施設全体が利用しやすい
40代	男性	・特になし
40代	女性	・よくわからない
50代	女性	・思い当たらない
50代	男性	・会津若松駅は駅員に聞かなくても殆どの人が電光掲示の案内だけで目的の電車に乗ることが出来る。
50代	女性	・HPの多言語化、また情報誌の多言語での送付。
70代	男性	・会津若松駅
40代	男性	・会津若松市の情報発信
30代	男性	・他の地域より公的手続きの窓口対応が丁寧でわかりやすくなっていると思います。
60代	男性	・コンビニで住民票や印鑑証明書が取れるようになり便利になった。
50代	女性	・情報
50代	男性	・市のHPに有った鶴ヶ城会館の取り組みは先駆けたと思います。
60代	女性	・ない
60代	女性	・特になし
50代	女性	・サービス、意識
30代	女性	・若松駅の改札口
50代	男性	・図表を駆使した表示が目立つようになった
60代	女性	・市職員の対応、スマホで予約できる医院やJR、市役所HP
70代	男性	・情報（ネット、ホームページ等）
60代	女性	・サービス
70代	男性	・情報
40代	女性	・市役所の案内。目の見えない人に対しての点字案内
70代	女性	・意識、安全
30代	男性	・駅の中
30代	女性	・会津若松市のホームページ
70代	女性	・情報
60代	男性	・安全、防災（以前よりは）
70代	男性	・意識（自分自身興味なく過ごしてきた、今後意識を持ち前進したい）
40代	女性	・情報
50代	女性	・「会津若松プラス」熊の目撃情報がタイムリーにわかる

問 16：会津若松市の中で、あまりユニバーサルデザインが進んでいないと思うところを具体的に教えてください。

■ハードの部分（例：公共施設、商業施設、道路、公園、公共交通、標識 など）

年代	性別	回答
40代	女性	・なし
50代	女性	・公共トイレ、休憩ベンチが少ないような気がします。市内でも僻地の道路状況が悪いと思います。
40代	女性	・歴史のある街なので仕方ないのですが、大通りから少し離れると細い道や凸凹した箇所等、歩きづらい道が多いです。
70代	男性	・健常者で困ったことがないので良く分からない。障がい者の場合、トイレ、段差等で改善を望むことが多いのではないかと。
40代	男性	・小学校、一箕小学校のトイレは40年前と同じ。くさい。
40代	男性	・特に思い当たりません
40代	女性	・よくわからない
50代	女性	・道路（車線変更の情報・認識不足から危険箇所が多い）
50代	男性	・会津若松市役所、初めて行った人はどこに何課があるのか、かなり迷うと思う。
50代	男性	・ふれあいスポーツ広場の駐車場と道路の凹凸部分がお年寄りに対して危険と思われる。目の不自由な人に、タッチ式の自動ドアはどうなのか？
50代	女性	・道路の段差、狭さなど。市内のレストランのトイレなどの狭さ。
70代	男性	・駅前広場バスターミナル
40代	男性	・自転車専用道路や歩道
30代	男性	・郡部のほうでは学校隣接の道路で、歩道がせまい、またはない。そのため歩行者、車両ともに危険であるとおもいます。
60代	男性	・バスなどの公共交通機関の路線数も少なく、本数も少ない。車を利用できない人にとっては、不便な街である。
50代	女性	・標識
50代	男性	・市役所につきると思います。
60代	女性	・市役所が古い
60代	女性	・特になし
50代	女性	・公園
30代	女性	・歩行者信号（音のなる所とならない所）
50代	男性	・公共施設が老朽化しすぎているのでは？
60代	女性	・古くなった公共施設や商業施設、公園のメンテナンス
70代	男性	・商業施設（通路のせまいスーパーマーケットがある）
60代	女性	・商業施設、公園
70代	男性	・公共交通
30代	女性	・道路、公園、冬の道路の状態

年代	性別	回答
40代	女性	・市役所は建物も古く使いにくいと思う。ただ建物自体は歴史的価値があるので、壊すのではなく他の利用をしたい
40代	男性	・公共施設
40代	女性	・市内各所の公園、誰でも入りやすく平らでない所があるのでは？
70代	女性	・道路
30代	男性	・総合運動公園、会津ドーム、河東体育館等の駐車場の白線が消えたままになっている（ふれあい、鶴ヶ城体育館も）
30代	男性	・公園
30代	女性	・道路、市役所
70代	女性	・商業施設
60代	男性	・全体に少ない
60代	男性	・道路、標識（それでもまだまだ）
70代	女性	・道路、一方通行が多いように思います
70代	男性	・標識（地元の人には問題ないが、県外等からの人は標識が木の枝が大きくなり、良く読めないところがある）
40代	男性	・商業施設
40代	女性	・道路
50代	女性	・道路（城下町のため道路が狭い、通学路の確保と一方通行の標識をわかりやすく標示してほしい）
50代	女性	・公園や子供が安心して遊べる室内運動場のようなもの

■ソフトの部分（例：情報、サービス、意識、安全、防災など）

年代	性別	回答
40代	女性	・なし
50代	女性	・ゆにぼくんのキャラクターを目にすることがないです。そのような場所に参加してないからかもしれませんが。
40代	女性	・古くからある個人のお店では、入りにくかったり、商品の内容が分かりづらかったりする場合があります。
70代	男性	・日常生活に満足しているので良く分からない。
40代	男性	・学校教員
40代	男性	・ホームページのデザインが古すぎると思います
40代	女性	・よくわからない
50代	女性	・市のホームページ（膨大な情報の羅列になっている。優先順位をつけ大中小と強弱をつけるべき。専門的なことを知りたい人は深い所まで探すから大多数のニーズや知らせたいことについてインパクトを与える表現にする）
50代	男性	・会津若松市役所、わかりやすい案内図1枚あれば何回も職員に目的地の行き方を聞かなくてよくなると思う。
50代	男性	・点字ブロックが歩道の中心にあるのは良いことなのか悪いことなのかよくわからないが、道路と反対側に合った方がよいと思う。また、除雪をしっかりとしないと機能しないと思う。
50代	女性	・特に思いつきません。
70代	男性	・駅前広場バスターミナル（放送案内が無く発着時間や乗りたいコースが分かりにくい） ・鶴ヶ城のボランティア以外の案内が少ない、
30代	男性	・高齢世帯での大災害時の避難訓練が不十分だとおもいます。
60代	男性	・ハザードマップなどは配布されているが、理解している人は少ない。防災意識は低いと思う。町内会単位で講習会を行うなど広報活動が必要。
50代	女性	・安全
50代	男性	・市役所の特に第二庁舎で希望の窓口がどこかがとてもわかりにくい。解り易い一覧でもあればよいのではないか。今もあるのなら見つけにくい場所なのではないでしょうか。
60代	女性	・防災意識が低い
60代	女性	・特になし
50代	女性	・情報
30代	女性	・無人駅
50代	男性	・社会が閉鎖的すぎるような・・・
60代	女性	・農村の町内会活動、市役所からの文書でわかりにくいものがある
70代	男性	・安全、防災の教育がなされていないのではないか（上記のスーパー）
60代	女性	・情報、安全

年代	性別	回答
70代	男性	・防災
30代	女性	・防災、サービス
40代	女性	・意識の面では個人差がとても多く、変わっていくのはなかなか難しいのではないかと思う
40代	男性	・意識
40代	女性	・災害に対するハザードマップの中で、避難についての対応（どこに避難するのか、避難場所の表示プレートがない）
70代	女性	・意識、防災
30代	男性	・スポーツ大会時（特に市外からも参加があるとき）の総合運動公園の交通誘導員の少なさ。渋滞がひどいので市外の人に悪いイメージを与えている
30代	男性	・防災
30代	女性	・防災（避難場所がわからない）
70代	女性	・サービス
60代	男性	・情報が少なすぎる
60代	男性	・安全、防災（それでもまだまだ）
70代	男性	・情報（パソコンを使用できないため情報が市政だより程度で少ない）
40代	男性	・全般的
40代	女性	・意識
50代	女性	・サービス、行政の対応

問 17：あなたが日常で見つけた「ユニバーサルデザイン」と思うものを教えてください。（シャンプーボトルの凹凸や駅の多言語表記、サービス等の内容など）

年代	性別	回答
40代	女性	・なし
40代	女性	・誰もが利用できるトイレ。最近ではレストランにも増えてきました。子供が複数いるので、みんなでトイレの個室に入りたいときに助かります。
70代	男性	・多言語表記
40代	男性	・左利き用はさみ
40代	男性	・シンボリックなマークでトイレなどを表記する
40代	女性	・よくわからない
50代	女性	・電車やバスの運行状況（主に首都圏や大きな観光都市）
50代	男性	・商業施設のトイレ、自動ドア。優先駐車場。
50代	女性	・自動ドアが増えていきます。
50代	女性	・ペットボトル
70代	男性	・道路標識、観光案内図
30代	男性	・会津若松駅での多言語表記。
60代	男性	・洗濯機の音声案内機能。ボタンを押せば現在の状態を教えてくれ、次に何をすればよいかを示してくれる。説明書がなくてもわかる。
50代	女性	・市内の交差点の進行方向の色の統一か
50代	男性	・市内の竹田病院の待合所での車イススペースに感動しました。本人も周りも不要な気遣いをしないで済むのでとてもよいと思います。
60代	女性	・GOODdesign 受賞製品
60代	女性	・意識して見ていないのでわからない
50代	女性	・よくわからない
30代	女性	・とある場所に貼ってあったあかべえのステッカー（トイレどうぞ、とか、何かこまったらどうぞ、とか）
50代	男性	・最近、中国語やアラビア語の表示が増えてきたような。まだポルトガル語（ブラジル語）やスペイン語圏の方には不便かな
60代	女性	・低いステップのバス ・子供用水筒（ふたを回しやすいように凹凸がついているなど） ・菓子の箱（開けやすく保管しやすい）
70代	男性	・会津若松駅構内の様々な表示
60代	女性	・公園での多言語表記、公共施設での案内表記
60代	女性	・駐車場（高齢者や障がいをもっている人のスペース）（無視する人が多い） ・道路わきの電柱（オマワリサンに光る） ・右折する時等の道路面の色（茶・ブルー）
70代	男性	・観光地のトイレ案内やホテルの多言語表記
30代	女性	・公共施設の案内

年代	性別	回答
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ボタンの位置が低く取り出し口が高い位置にある自動販売機 ・センサー式の蛇口（使いやすいだけでなく節水にもなる） ・ピクトグラム
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・JRの駅のきっぷ売り場の所にある五十音図料金表。実際に料金表を確認している人をみたことがある
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用品の点字表示、駅などの多言語表記
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・城前交差点の信号のあとどれくらいで青に変わるかの表示。温泉マーク、市内の観光マップの英語や中国語版
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・駅での切符売り場内での同時通訳など
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停の表記
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・町中にある案内板
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・家電製品等に凹凸がついており、大変良いと思う
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・アイライナーの持ち手の凹凸、電車のホームの凹凸
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・京都市内のシャトルバスの待合所の電光掲示板。今バスがどこを走行しているのか、ひと目でわかる。多国籍語、音声ガイドが充実している)

問 18 : 「ユニバーサルデザイン」の取組を進めていくためのアイデアを具体的に教えてください。(サービス、施設等の設備、ものづくりなど)

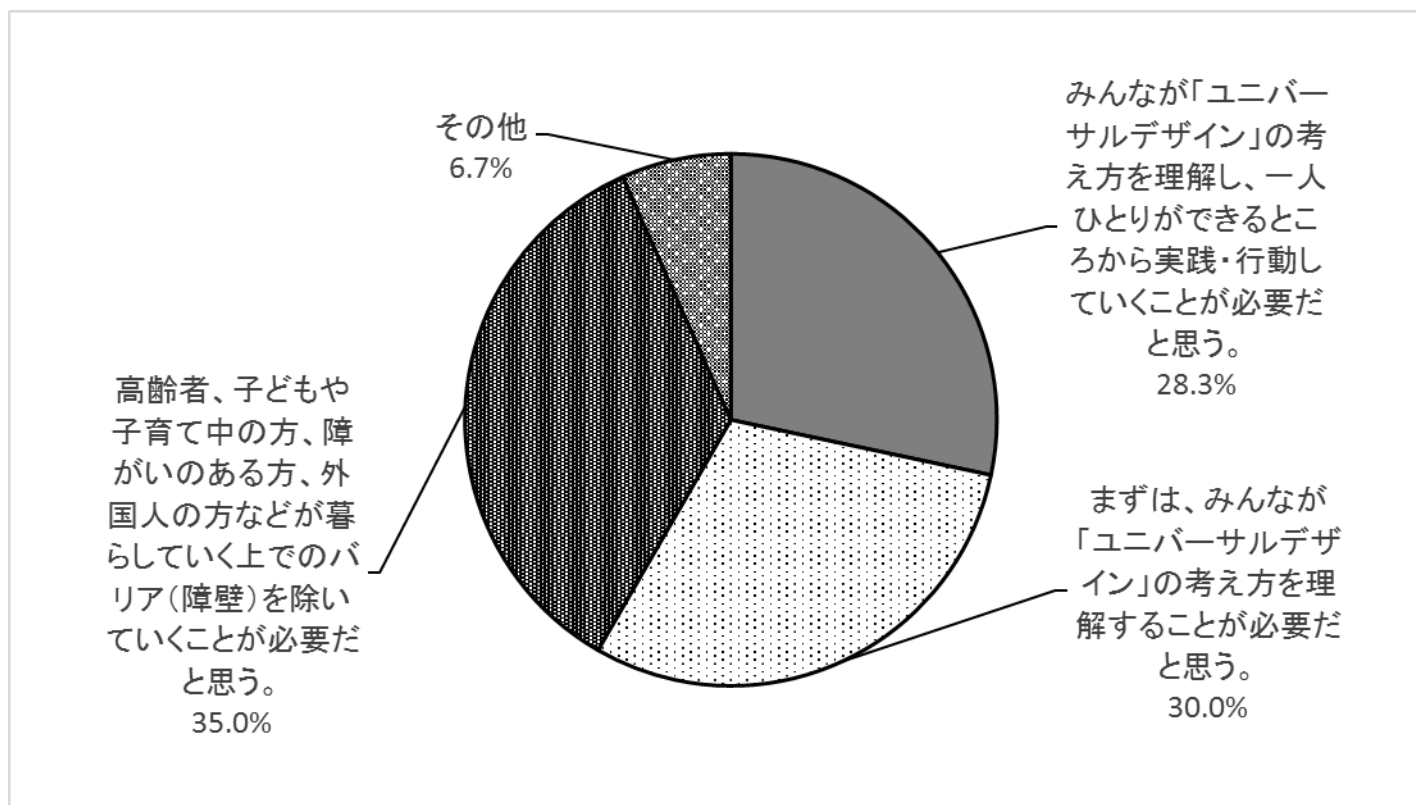
年代	性別	回答
40代	女性	・なし
40代	女性	・wifiをもう少し強化すると、スマホで必要な情報がその場で手に入るのにな、と思うことがあります。
70代	男性	・子供、身体障害者の視点から見ると改善点があると思うが、私には良く分からない。
40代	男性	・若い人の進出
40代	男性	・「ユニバーサルデザイン」という横文字がもうユニバーサルではないと思う。もっとわかりやすい言葉を使うべき。
50代	女性	・ユニバーサルデザインと言う単語を補うキャッチコピー(この言葉のみでの理解度は半分にも満たないと思う)
50代	男性	・行政施設よりも、民間施設事業者の意識向上だと思います。
50代	女性	・歩道の段差、狭さが気になります。街全体として、見直してみてもどうでしょうか？
70代	男性	・交差点の歩道への車の侵入防止策 ・道路の歩行者と車道の区分白線の整備(現状は白線が剥げて歩行者が危険)
30代	男性	・市街地主要道路での歩道づくりの促進。
50代	女性	・外国人の観光客向けの対応がこれからは重要と感じる
50代	男性	・市役所をいろいろなしがらみを考慮せず、一から設計施工をすることが必要。先ずはいろいろな意味で見本にならないといけないのでしょうか。
60代	女性	・古い建物にも障害者や高齢者に優しい建物であるべき。段差やエスカレーター、エレベーター、点字ブロック、音声案内くらいは古くても後付け設定した方がいい。
50代	男性	・その前に閉鎖的な意識を変えなければ・・・
60代	女性	・会津若松市としての特色を出す取り組み(宣言都市)をもっと市民に広め、行政と市民活動でユニバーサルデザインの観点でもっと盛り上げていってはどうか。下記の宣言をしていることを市民はよく知らない。(がん撲滅都市宣言、健康スポーツ都市宣言、男女共同参画都市宣言)
60代	女性	・公共交通の乗降自由や無料化、商業施設でのきめこまかいサービス対応
60代	女性	・注意してみれば、いろいろ対策をしていることはわかりますが、普段車の移動なので公園・ベンチ等が設置(整備)されていても、利用することがない。駐車場(無料)があれば、街の中のユニバーサルデザインについてもっと知ることができるかもしれない(ものづくりって何?と思っている)

年代	性別	回答
70代	男性	・災害時の場所、移動方法
30代	女性	・困っていても、声を発する機会がない方、どのようにしたら良いかわからない方に対して知ってもらうための方法を考える
70代	女性	・健常者、障がい者別なく平等なサービス
30代	男性	・そういえば、神明通り内の横断歩道の信号で「とおりゃんせ」が流れていましたが、とっくになくなっていきますよね？やはり会津らしい特色、独自性を増やしていくのが良いのではないか。
30代	男性	・老若男女すべての人がユニバーサルデザインを理解しない限り取組を進めるのは無理だと思う
30代	女性	・市民の皆さんが何を一番改善してほしいのか、アンケート調査を行い、一番になったもの（こと）から「ユニバーサルデザイン化」を進めてほしい。私の場合は、市役所の手続き関係で、どの課に行くべきか迷うので、わかりやすい標示があるといいかなと思う（案内人に聞くのが早いけど・・・）
70代	女性	・商業施設が市の中心部になく、映画館がないこと、皆市外・県外に出してしまう
60代	男性	・体の不自由な人がわかりやすい表示
60代	男性	・「みんなが、誰にでも、すべての人が」は欲張りすぎか。まずは出来る事から???
70代	男性	・緑地帯避難場所になっている場所では木も大きくなり隣接する住宅もあり、いかがなものかと思えます
40代	女性	・小さな子から老人までわかりやすいデザイン、段差など
50代	女性	・自動ドアが透明のためドアにつっこむ人がいる。わかりやすいようにカラーリングしてほしい
70代	男性	・公共の施設（例えば公民館）へのエレベーター設置

4. 今後のユニバーサルデザインを進めていくことについて伺います

問 19 : 「ユニバーサルデザイン」の考え方によるまちづくりについて、あなたの考えに最も近いと思われることは何ですか。

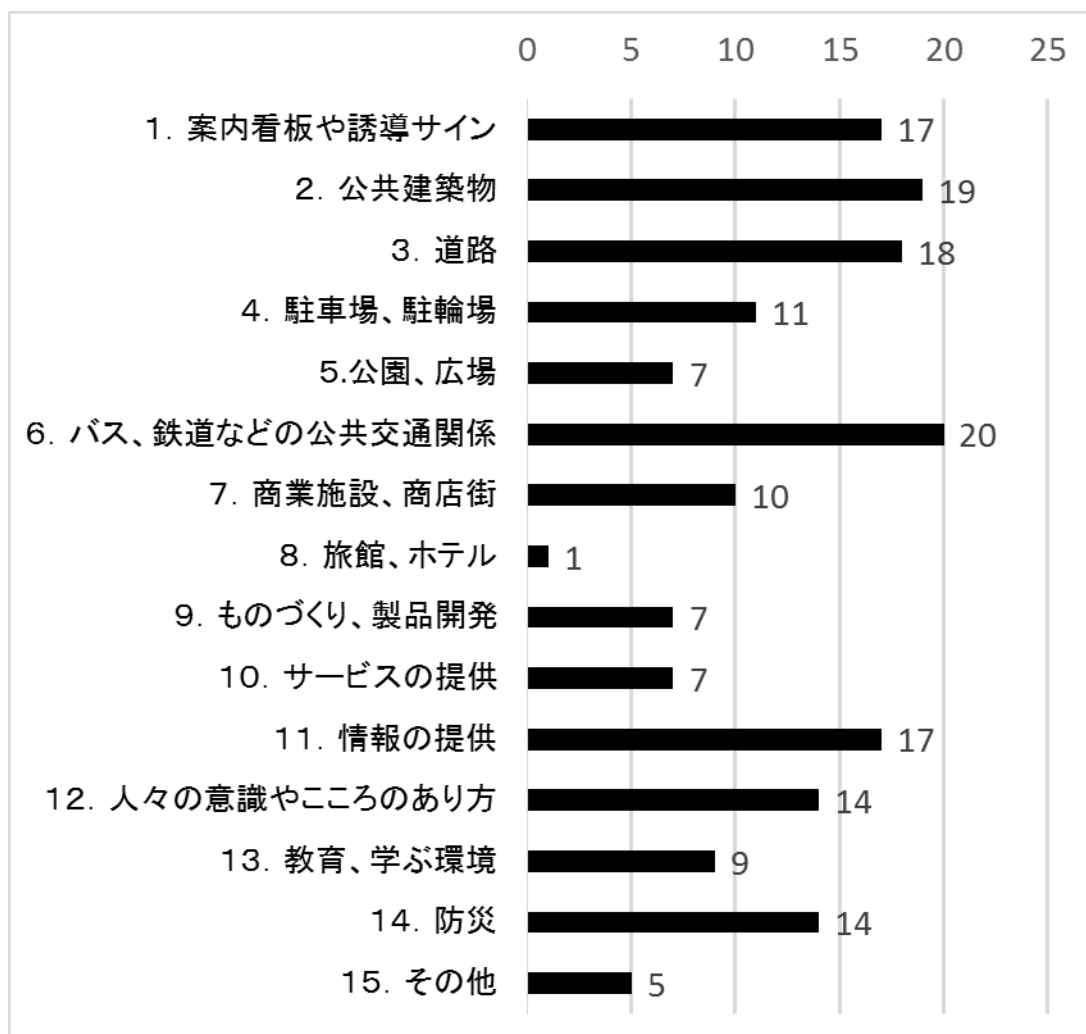
1. みんなが「ユニバーサルデザイン」の考え方を理解し、一人ひとりができるところから実践・行動していくことが必要だと思う。 28.3%
2. まずは、みんなが「ユニバーサルデザイン」の考え方を理解することが必要だと思う。 30.0%
3. 高齢者、子どもや子育て中の方、障がいのある方、外国人の方などが暮らしていく上でのバリア（障壁）を除いていくことが必要だと思う。 35.0%
4. その他 6.7%



【その他の内容】

- ・「ユニバーサルデザイン」は理解させるものではなく、自然と受け入れられるものと思います。
- ・利用者が見てすぐわかればいいので、理解が必要な時点でユニバーサルデザインではないと思う。
- ・ユニバーサルデザインを日本語で
- ・1～3の違いがわからない

問 20：あなたが、ユニバーサルデザインの考え方を導入していくことが必要だと考えるのはどれですか。（回答は3つまで）
 また、回答いただいた項目において、具体的にはどのようにユニバーサルデザインの考え方を導入していく必要があると考えますか。



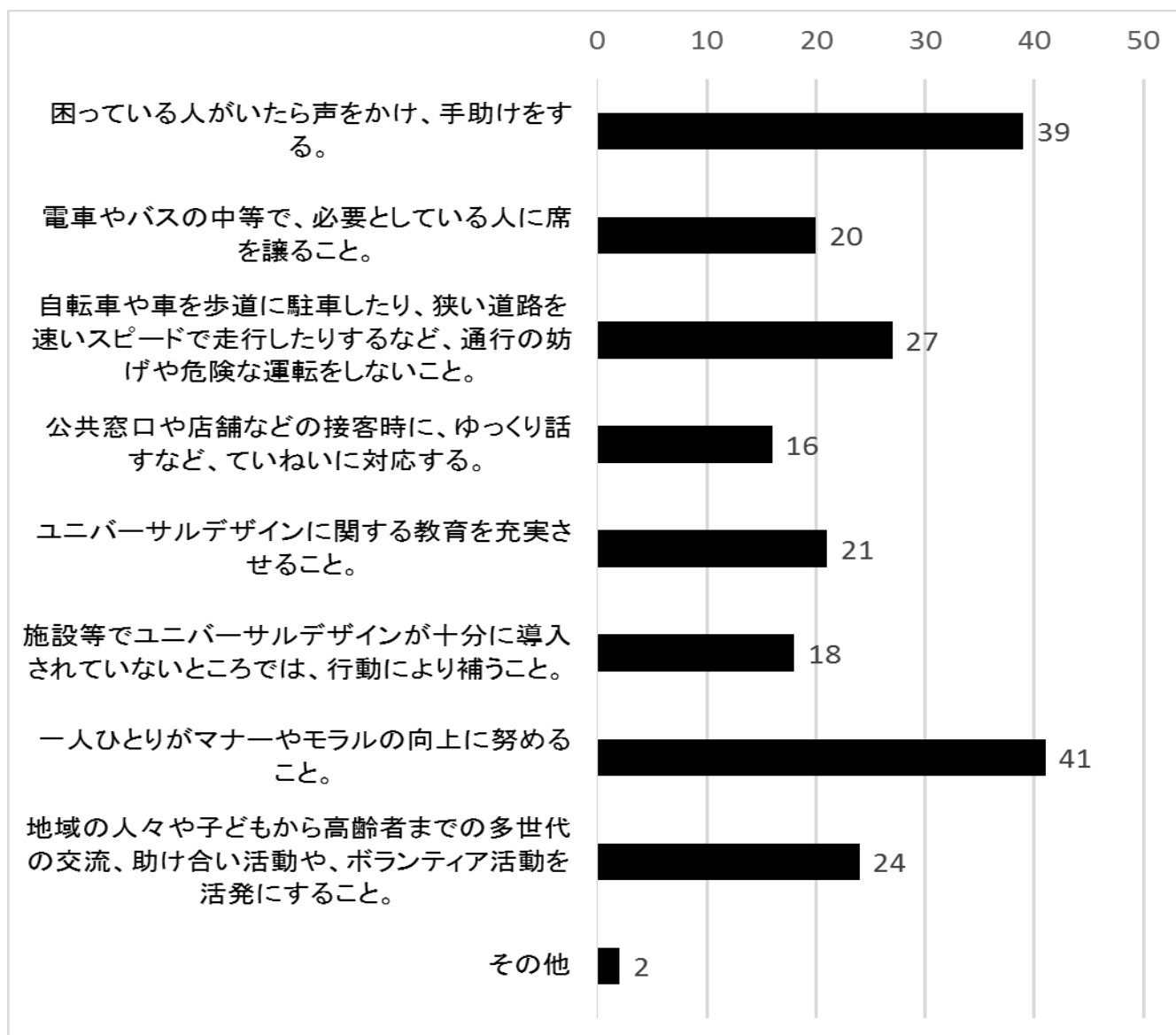
具体的にユニバーサルデザインの考え方を導入していく必要と考える部分

年代	性別	回答
70代	男性	・社会の弱者に取って住みやすい街作りの観点から、ユニバーサルデザインを進めること。
40代	男性	・基本的には、すべてユニバーサルデザインを意識して作るべき
50代	女性	・道路標識の見直し ・情報提供の見せ方 ・今日、想定外に起こる自然災害への仮説、仮説に基づく備え、避難の想定案
50代	女性	・身近なところで、ベビーカーや車いすでの、行動が可能なのかを考え、商業施設、駐車場を見直す。
30代	男性	・親子でユニバーサルデザインについて学ぶ機会があると理解が進むと思います。（学校の授業参観でとりあげるなど）

年代	性別	回答
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・観光案内看板などでの、多言語表記を増やしていく。 ・無料Wi-Fiスポットを増やしていく。
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・前述したように市役所は見本になるようなものを建てていただきたい。そこを基準に民間へも波及させていけばよろしいのでは。サービス面では支所でも即日交付をできるように取り組んでもらいたい。とにかく時間がかかるので、支所と本庁の混雑を平準かできるように考えてはいかがでしょうか。
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・問18に書きました。
50代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・1：いろいろな国の方々が来られるので ・2：老朽化が著しい ・12：会津は他所から来た人に閉鎖的すぎる
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・7：市民が気持ちよく買物できるよう、ユニバーサルデザインを取り入れた施設づくりも必要ではないか ・9：会津の地場産業発展のためには伝統を大事にするだけでなく、ユニバーサルデザインも取り入れながら商品開発が必要だから ・12：ユニバーサルデザインの考え方を一人ひとりが身につければ、広まっていくから
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・2：エレベーター設置 ・14：訓練などの教育
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・1：文字を大きくとか、絵文字にする等して誰でも理解しやすい様にする。音声でも ・13：現実を知ること。気づかせてあげられるのは教育・学習なので、学校や公共広報に力を入れる
60代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・4：1、2時間の駐車料金が300円、500円となると、なかなか負担が大きくなるのでは？ ・13：公民館・コミセンで活動する時の減免についてもっと考えてもらえればいいのと思う（利用目的を聞く）
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・6：バス停の案内板やイス等 ・14：災害時、雨や水、火災、地震等の避難所への移動や指定場所の明示
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・行っている行動を多くの人が目にする場で告知すること
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・2：車いすの方でも使いやすいように通路を広くとったり、案内の表示もわかりやすくする ・12：一人一人が意識をしなければ改善しない。一番難しいことかもしれないですね
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・10：サービス情報の提供 ・11：提供方法の多様化 ・14：災害予想の提供

年代	性別	回答
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 : 初めて会津に来てくれた人々にもわかりやすくするために ・ 4 : 他県から来た人々が車をとめる時に困らないように ・ 10 : 会津市内の人々だけでなく、他県から来た人や外国人さんにもわかりやすいようにするため
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 : 歩道がない道路（境がわからない道路） ・ 6 : 新市内を旧市内並みの交通機関の利便性をはかる ・ 12 : 各自のマナーやモラルの向上
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9 : 会津ブランドを高めるため、認知を広めるために「會」のロゴを作成して標準使用にする ・ 11 : 市政だよりも誰もが知っているようなUDの表示や環境も掲載し、若松独自のものやこれから取り組むことを比較し印象づける ・ 13 : 小中学生の授業に取り入れ、子供を通して家庭にUDの話題を持ち込ませ、大人に広めていく
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 : 全ての人が利用しやすいように ・ 12 : 理解を深めるように努めるべき
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 : 大きな文字、見やすい色、手前からわかるように何枚も ・ 3 : 右レーンや左レーンがあるならば、早い段階でわかりやすく表示 ・ 6 : バスの料金標示を見やすく。次の停車はどこかわかるように標示
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 : 大町四ツ角から七日町に下る歩道がデコボコで斜めになっている
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 : 表示を大きくわかりやすく ・ 5 : 使用方法をわかりやすく表示 ・ 11 : 市のホームページがわかりにくい。使いにくい
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町中は、今の車社会に対応出来ていない。案内板もまだまだでは???
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記載なし
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7 : 49歳ですが、商業施設で必要な場所を探すのが大変。ぐるぐるぐるぐる ・ 11 : 新聞とっていない、市政だより見たことない、回覧板見ないでまわす、ネットって何?って人 ・ 12 : ゆずりあう気持ち。会津人気質。どうすればいいかはわかりません、すみません
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 : 誘導サインも皆の認識が必要 ・ 7 : 発展するためのPR ・ 14 : 万一の災害の避難場所等強化
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 : 電光掲示板、音声ガイドで視覚・聴覚ともにわかりやすくする ・ 9 : 左利き用、右利き用、両方使える物を作ってほしい ・ 14 : 正しい情報を迅速に伝える
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3 : 冬道、安心して歩道を歩けるように ・ 5 : 子供やお年寄りの方が利用できる設備のととのった公園等

問 21 : 「こころのユニバーサルデザイン」を進めるにあたり、特にどのような配慮が必要と思いますか。教えてください。(複数回答可)



【その他の内容】

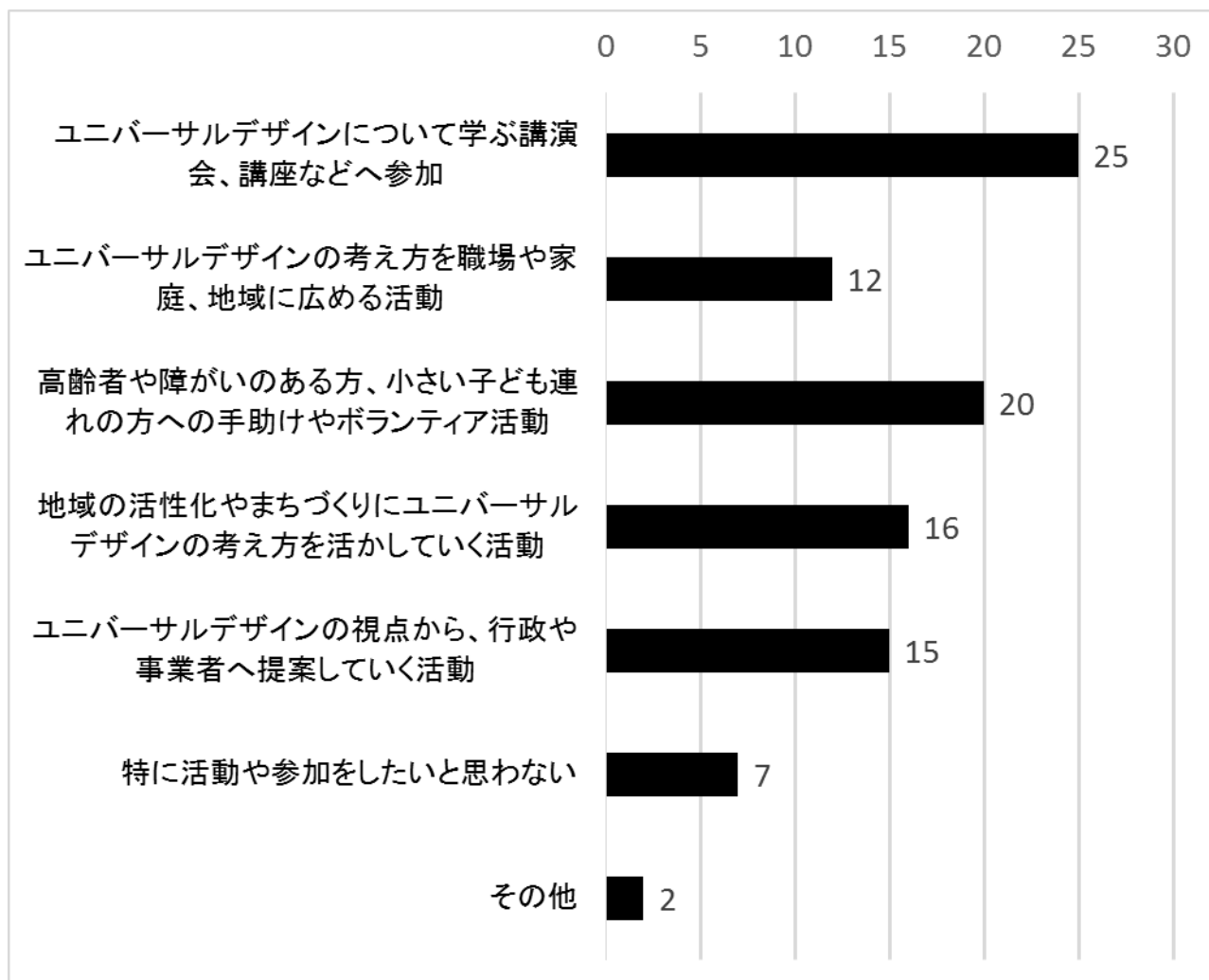
- ・会津人は困っている人がいても声をかけるということはとても勇気がいります。子供のころから道徳の時間に取り入れたら良いかな、と思います

問 22 : 「こころのユニバーサルデザイン」の行動・実践として、私たち一人ひとりができるものとしてどのようなものがあると思いますか。教えてください。

年代	性別	回答
40代	女性	・小さな頃からの親の教育
40代	女性	・周りで困っている人を見つけたら、助けてあげられるような、心の余裕を持つこと
70代	男性	・常に相手の立場に立ち、人を思いやること。
40代	男性	・理解する
40代	男性	・特に思い当たりません
40代	女性	・高齢者や障害者に配慮する ・謙虚な気持ちで行動する事
50代	女性	・問 2 1 のとおり ・教育現場の中や企業の中で啓蒙していく。その学びが個々の行動につながる
50代	男性	・道に迷った観光客に道を教える。
50代	男性	・誰にでもあいさつ出来る心
50代	女性	・「こころのユニバーサルデザイン」とは他を思いやることだと考えます。困っている人がいたら、声を掛けて、助け合っていけるといいですね。
30代	男性	・子供だけの外出への大人の見守り。
60代	男性	・街中の運転には特に気を付けるとともに、歩行者優先の気持ちを常に持つ。
50代	男性	・自分の周りの人、接している人の立場になって対応することをこころがける
60代	女性	・特に病院等ではエレベータの操作や待合所での周囲への配慮を忘れないようにしたいと思います。
50代	女性	・優しい気持ちでいること。
30代	女性	・困っている人がいたら、声をかけたり、席を譲ったり、相手の事を思いやれる心を持つこと
50代	男性	・困っている人がいたら、すすんで声をかけてみる（あいさつから）
60代		・他所から来た人たちにも思いやりの気持ちをもつべき
70代	男性	・弱い者（子ども、障がい者、老人）の立場で、環境整備を考えたり、町内活動やまちづくりをすすめる。基本優しい心を持って接することが大事だと思う
60代	女性	・思いやりの気持ちで行動すること
60代	女性	・声かけやあいさつ
70代	男性	・たとえば認知症カフェ、オレンジリング
30代	女性	・地域に住んでいる高齢者、障がい者、子供等に関心を持ち、何かあれば支援する気持ちを常に持ってお互い様の精神で関わっていききたい
40代	女性	・地域の出来事に関心を持つこと

年代	性別	回答
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の立場になってものごとを考える ・子供より大人の意識改革が必要に思います
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・会津市内の人々だけでなく、他県から来た人や外国人さん（英語だけでなく身振り手振りでも）にもできる範囲で、それぞれの場面で対応すること
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・諺で言えば、「遠くの親戚より近くの他人」「時かぬ種ははえぬ」「温故知新」等の常識の行使
30代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な挨拶、声かけを地域で始める。大人は恥ずかしい、今さら、などと感じると思うので、幼稚園児や小学生に力を借りてやる
30代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・偏見を持たずにモラルを守り、人としてどうなのか・・・という行動を頭に入れて行動する
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てをしているママが困っているときには、手助けをしてあげたい（例：重い荷物を持ちながら、赤ちゃんをだっこしている時には、声をかけて荷物を持ってあげたい）
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・私は積極的に観光客に声をかけています。特にバスの中で、案内をしています
60代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の利益をなるべく考えない
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりがまずは関心を持ち、生活の中でにてできることから挑戦してみる
70代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・勇気を持ってお声かけをする事から始まるかと思います
70代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている人を見かけたら手助け（声かけ）ができる勇気を持って行動できる人材を多く育てる、そんな会津若松市になったらと思います
40代	男性	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が年々増加する中で、今回の件についても不十分であり、講座等にて知識を吸収したいと思っています。ユニバーサルデザインについてどれだけの人たちが知っているか？パソコンが出来ない者としては情報が少ない
40代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・教えられることはありません
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・困っているひとがいたら声をかける、一人ひとり思いやりの気持ちをもつ、学校・家庭でこころのユニバーサルデザインの教育
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア精神をもって困っている人がいたら助ける
50代	女性	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりが常に常識として生活していくこと

問 23：あなたは、ユニバーサルデザインに関する活動で参加したいものがありますか。（複数回答可）



【特に活動や参加をしたいと思わない理由】

- ・一般的に表記なので「活動」が必要な時点でユニバーサルデザインではないような気がします。
- ・行政や事業者の実行力、手腕によるところが多大にあるのにも関わらず、議会広報などで質疑応答の内容を見ると応答に関する文言にまるで具体性がない。活動したところで、意見が反映するような印象を受けない為
- ・現状、親も老人ホームへ入所し外出はほとんどしない。自分も今のところは不自由を感じないため。
- ・優しい気持ちでいれば、周りを自然と助けられるし、それが当たり前になるから。
- ・参加したいと思っても余裕がないため
- ・先に自治体の人たちが率先するべき
- ・ユニバーサルデザインがよくわからない

【その他の内容】

- ・地域支援ネットワークボランティアに参加しています

問 24 : ユニバーサルデザインやバリアフリーの観点から、あなたは会津若松市がどんなまちであってほしいと思いますか。ご意見をお聞かせください。

年代	性別	回答
40代	女性	・市民に優しい町
50代	女性	・思いやりがある町 ・観光客が喜んでまた来たいと思ってくれるような町
40代	女性	・子供やお年寄り、外国の人にも住みよい街
70代	男性	・ハードとソフトの両面から住みよい街。
40代	男性	・歴史と現代がマッチした街づくり。 ・鶴ヶ城前のラブホテルはありえない
40代	男性	・「ユニバーサルデザインをたくさん取り入れています！」というのは逆にかっこ悪いと思います。それを意識せずに浸透している街づくりが素敵だと思います。
40代	女性	・市役所の建て替え ・商業施設の誘致
50代	女性	・実践させていくのに調度よい規模の町である。その上産官民学のバランスもとれており、観光地でもある。取組みによっては全国のモデルケース、成功事例となる町に発展できる
50代	男性	・ユニバーサルデザインは民間主導で対象がすべての人、バリアフリーは行政主導で対象が障がい者、高齢者等になるので、役割に応じてきちんと仕事をすればよいと思います。
50代	男性	・どんな人でも楽に暮らせる町
50代	女性	・観光の街会津から「ユニバーサルデザイン」や「バリアフリー」を率先して行い、全国のモデルとなってほしいです。
50代	女性	・四季島などの素晴らしい電車が止まる駅になっている観光地の良さをさらに高めて欲しい
70代	男性	・区長会や市の諸団体など市民の意見の活用によるトータル的な定期的検討会
30代	男性	・特に積雪時をおろそかにしないユニバーサルデザインのまちであってほしいです。
60代	男性	・高齢化がますます進んでいくため、お互いの助け合いが必要。除雪ボランティアなど、近所でお互いを気軽に助け合う意識を持つ街であってほしい。
50代	女性	・困ったときに気軽に話しかけることができる環境
50代	男性	・近い将来、不便を感じる年齢になるので、移動や役所関係で必要以上に疲れないような施策をお願いしたいと思います。
60代	女性	・優しい気持ちの人が多いまちであってほしいと思っています。
60代	女性	・思いやりのできる町
30代	女性	・助けが必要な人がいたら進んで手助けしていく町（お互い様の精神）
50代	男性	・地元の人、観光の人、移住してきた人すべてにわけ隔てのない町

年代	性別	回答
60代	女性	・会津若松市に住んでいて、誰もが「幸せだなあ」と思えるまちであってほしい
70代	男性	・弱者も安全安心に住めるまち
60代	女性	・観光客や自然を大切に、若松市を誇りに思える人々のくらすまちであってほしい
60代	女性	・文化の程度(?)が低い気がする。旧県立病院の跡地等についてどんな対策がされているのかわからないが、ユニバーサルデザインをフルに使った施設(映画館50~60人ぐらい入れればよい)(観光客がお金をおろして行く建物)を考えてほしい、もちろん会津若松市内の人々が気軽に入れるような施設も・・・
70代	男性	・高齢者や障がい者、子ども等にやさしい、思いやりのある会津若松市であってほしい ・住んでよかった安心して生活できた実感できた市であってほしい
30代	女性	・また遊びに来たい。暮らしたいと思ってもらえるようなまち
40代	女性	・そこに住む人々が住みやすく、訪れた人がまた来たいと思うようなまち。一人一人の心のあり方が問題であると思います
40代	男性	・老後に暮らしやすい街
40代	女性	・お年寄りや障がい者の人にとって住みやすいまちであってほしい
70代	女性	・昔から言われている会津の「義」、思いやりとやさしい気持ちで心豊かに暮らせる市
30代	男性	・住みやすい、また遊びに来たいと思われるようなまちであって欲しい。観光面で考えると一方通行への表示をもっとわかりやすく、増やしたほうが良い。住みやすさで考えると、交差点で右折車両がいたら対向車ももっと譲ってほしい
30代	男性	・障がい者も健常者も住みやすく皆が助け合って生活できる市であってほしいと思う
30代	女性	・子育てに優しい街であってほしい(子連れママに優しい街)
70代	女性	・道路起伏が多く、バスが揺れる、観光客がびっくりしている
60代	男性	・市に要望しても返事がない
60代	男性	・会津若松市が他の市町村の方々から「真剣に取り組み興味のある町市」と行政がアピール取組む出来る事から?
70代	女性	・夜遅くても一人で安心して歩ける街になったらいいです
70代	女性	・不自由であっても、遠慮しないで声を掛け合える、そしてお互い笑顔の溢れる会津若松市になったら良いと思います
70代	男性	・鶴ヶ城近辺の駐車場の無料化 ・歩道がまだまだせまいところがあるので少しでも広げてほしい
70代	女性	・観光地化しすぎて駐車料金ばかりとって ・情緒(ゆったりとした)に欠ける ・まだまだバスも乗り降りしにくいし、高齢者の身になっていない

年代	性別	回答
40代	男性	・ユニバーサルデザインやバリアフリーの観点から市がめざしている方向で全く賛成です。そういうまちであってほしいです
40代	女性	・駅の活性化、バスの本数を増やす、駅ビルを作る
50代	女性	・一人一人がマナーを守って互いに思いやり助け合いのできる町
50代	女性	・観光地としてもそうですが、困っている方に常に声掛けできるような意識を持った人が多いまちづくりを目指してほしいと思います。また、いろいろな施設に貸し出し用の車いす等もあれば良いと思います

5. その他

問 25：その他、本市のユニバーサルデザインの推進に関し、ご意見やご提案などがありましたら教えてください。

年代	性別	回答
40代	女性	・子供が小さいときは特にユニバーサルデザインのありがたさを実感しました。ひと昔とは違って、おむつ替えの場所も充実してきましたし、一般のお店にも子供が靴を脱いで少し遊べるスペースが設置されていることが増えてきました。会津若松がみんなに住みよい街になったらいいなと思います。
70代	男性	・若松市が本気でユニバーサルデザインを推進しているようで素晴らしいことだと考える。
40代	男性	・まず、このアンケートがユニバーサルデザインといえるでしょうか？わかりにくい箇所があります。
50代	男性	・ユニバーサルデザインは民間主導型なので、会津若松市の推進に関しては、ユニバーサルデザインを導入している民間の意見、事例を取り入れるのが一般的だと思います。
50代	女性	・少しずつでもよいので、住民一人一人が意見をだせるような仕組みを作ってほしい
50代	男性	・市の主導でガンガン進めて頂きたいと思います。
60代	女性	・意識づくりはとてみたいへんなことだと思います。モニターを3年していて同じテーマについてのアンケートなのに深掘りできません。今後意見の交換会を年2回とかしてみたらどうでしょうか？モニターのかたただけでなく地域団体などと混合で開催し普及要員を育成する場作りをする
50代	女性	・みなさんに優しく、親切で、きれいな街であってほしいと思います
50代	男性	・言いたいことは充分書きましたので・・・
60代	女性	・健康づくりのために、健康受診率を高めるよう、ひとりひとりが何かひとつでも運動をするよう取り組みをやってほしい。保健委員が各町内会にいたので、目立った取り組みをしていないと思う。 ・「男女共同参画」をもっと市民に浸透させ、各家庭で男女が支えあえるような意識づくりが必要
70代	男性	・推進に努力しているのは理解できるが、もっと市民に周知すべきである
60代	女性	・「ユニバーサルデザイン」という言葉そのものを日本語の別な言い方にしたら幅広い人々に理解してもらえと思う
70代	男性	・年に1回くらい講演会等の行事を行ってほしい
40代	女性	・小学校の社会科の時間に取り上げるのではなく、中学生以上の学生さんや社会人の人々にもミニ学習会という形で勉強会を開いてほしい
70代	女性	・市の策定プランを全市民に浸透すること

年代	性別	回答
30代	男性	・数年市政モニターをやっているが、毎年この件がアンケートにあるのでなかなか進まないなど感じる。UDを始めた頃と現在とでどれ程市内がUDに関して前進したのか、データや資料で比較対象できるものを開示してほしい
30代	女性	・ユニバーサルデザインもいいが、まずは子育てに優しい街にしてほしい。保育園・幼稚園の無償化を早くやってほしい
70代	女性	・映画館がほしいです。郡山まで行かないといけないのでつまらないです
60代	男性	・頑張ってください！
70代	女性	・皆仲良く、楽しい会津若松市になれば良いと思います。イベントを多く市政だよりに記載されていて外出を多く参加できる行事があり、老後元気に暮らせたなら幸せです
70代	女性	・ユニバーサルデザインという言葉をもっと普及させ、皆に関心をもってもらえる事が大切だと思います。聞いたことがないという人がいないように
70代	男性	・もっと多くの情報を出してほしい
70代	女性	・ユニバーサルの言葉の意味さえわからない、もっと身近にわかるようにしてもらいたい
40代	男性	・ユニバーサルデザインって取組に違和感を覚えます。もっといい言葉が和の言葉であるんじゃない？複数になるけど。方向性は反対する部分ない。みんなが賛成だけど、ふわふわしすぎてだれもついてこない。我が会津若松市のこれからのためにがんばってアンケートを書こうと思っておりますが、なじみがない言葉とゆるゆる抽象的テーマであまり意見ありません
40代	女性	・市政だより等、皆の目につくものにもう少し知ってもらうよう推進する
50代	女性	・海外からの観光客に道を聞かれた。みんなが答えられるように、観光名所に多国籍語でパンフレットなどを作ったらよいのではないかと思う

以上。